

80 THE 33RD ANNUAL MEETING OF THE JAPAN CYTOMETRY SOCIETY

JCS33

www.33jcs.com

7077L  
抄録集

#Collaboration

# 日本サイトメトリー学会 第33回学術集会

2023 ONLINE  
1月22日 >>> 23日

会 長: 高橋 良/杏林大学大学院医学研究科  
実行委員長: 小賀厚徳/山口大学大学院医学系研究科

日本サイトメトリー学会機関誌

THE 33RD ANNUAL MEETING OF THE JAPAN CYTOMETRY SOCIETY



JCS33

www.33jcs.com

# 日本サイトメトリー学会 第33回学術集会

プログラム・抄録集

#Collaboration

2023 ONLINE  
1月22日 >>> 23日

学術大会事務局

第33回日本サイトメトリー学会学術集会事務局

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

杏林大学医学部共同研究施設フローサイトメトリー部門

E-mail : 33thjcs@cytometry.jp

運営サポート事務局

田中昭文堂印刷株式会社 学会事業部

〒920-0377 石川県金沢市打木町東1448番

TEL : 076-269-7788

FAX : 076-269-7311

E-mail : tanaka@kagasaisei.jp

# 会長挨拶



第33回日本サイトメトリー学会学術集会  
会長(総合制作) **高橋 良**  
杏林大学大学院医学研究科  
共同研究施設フローサイトメトリー部門

2023年7月22日(土)・23日(日)の2日間にわたって第33回日本サイトメトリー学会学術集会会長を務めさせていただくことになりました。本学会開催に際し、多くの先生方にご指導ならびにご支援を賜り、心より御礼申し上げます。微力ながら本学会に貢献できるよう、努力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本学会のテーマは「#Collaboration」といたしました。これは、大型研究設備であるフローサイトメトリーやセルソーターは、共同研究施設で運用されている場合が多く、私が所属する部門でも日々、多くの先生方に共同研究のツールとしてご利用いただいている理由から本テーマといたしました。

本学術集会では、特別講演(一般市民公開講座)・教育講演・コラボレーションシンポジウム3セッションを企画いたしました。特別講演では、大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台 野辺山宇宙電波観測所所長 立松健一先生に、世界最高性能を誇る直径4.5メートルの電波望遠鏡で発見したブラックホールの話、そして共同利用施設である観測所の現状と未来についてご講演いただきます。なお、本公演はテレビ信州様にご後援を頂いております。

教育講演は、日夜フローサイトメトリーを駆使してご研究されている、大阪大学医学系研究科 生体防御学教室 教授・理化学研究所生命医科学研究センター自然免疫システムチームリーダーの茂呂和世先生に『フローサイトメトリー愛』を語っていただきます。

シンポジウム1では、シングルセル解析を中心とした次世代シーケンス(Next Generation Sequencing, NGS)の発展にとりくんでおられるNGS EXPO様(主宰:大倉永也先生・大阪大学免疫学フロンティア研究センター)とのコラボレーションシンポジウムで、学術集会として初めての他団体様とのCollaborationシンポジウムの開催となります。Single cell RNA-seqに関して先生方の貴重なご講演を拝聴し、勉強させて頂きたいと存じます。シンポジウム2では、本学術集会のテーマ「#Collaboration」から、フローサイトメトリーを運用している共同研究施設のご担当の先生にご登壇頂き、各施設の特徴や運用方法についてご紹介して頂くバーチャル会議場(oVice)でのラウンドテーブル方式シンポジウムです。そしてシンポジウム3では、日本サイトメトリー技術者認定協議会との初のコラボレーションシンポジウムとなります。今回、医療現場最前線の先生をお招きし、造血器系腫瘍などのFCMデータの読み方が基礎から学べる教育的なシンポジウムです。

ところで、ようやくCOVID-19感染状況は収束しつつありますが、本年も引き続きオンライン開催といたしました。今回は、ZOOM配信だけでなく、参加者や協賛企業とリアルにコミュニケーションできる二次元バーチャル空間の学会会場をご用意しました。二次元バーチャル空間とは、Web上の仮想空間でアバターを操作し、会話や交流ができるサービスです。なお、ご参加される皆様におViceのご利用方法に慣れていただくために、学会期間より前から会場を開放し、事前に使い方のレクチャーを行いますので、ぜひご参加ください。

プログラム構成ですが、土曜日は基礎研究者の皆様、日曜日は臨床検査技師の先生方を始めとする医療従事者の先生方にご参加頂きやすい編成を組みました。また、土曜日夕刻に、オンラインではありますが、久しぶりに懇親会を開催いたします。お飲み物・お食事は各自でご用意頂く必要がございますが、会員相互の親睦が図れることを期待してやみません。皆様のご参加を実行委員会一同、心よりお待ちしております。

## 歴代学術集会一覧（敬称略）

回	年	会長	所属	会場
第1回	1991年	天神 美夫	佐々木研究所附属杏雲堂病院婦人科	経団連会館(東京)
第2回	1992年	松村 浩	関西医科大学脳神経外科	大阪国際交流センター(大阪)
		野田起一郎	近畿大学医学部産婦人科	
		学術集会長 河本 圭司	関西医科大学脳神経外科	
第3回	1993年	高倉 公朋	東京女子医科大学脳神経外科	東京商工会議所 東商ホール(東京)
第4回	1994年	富田 正雄	長崎大学医学部第一外科	長崎プリンスホテル(長崎)
第5回	1995年	西谷 巖	岩手医科大学産婦人科	盛岡劇場(盛岡)
第6回	1996年	田中 敬正	関西医科大学放射線科	千里ライフサイエンスセンター(大阪)
第7回	1997年	野村 和弘	国立がんセンター中央病院脳神経外科	東條会館(東京)
第8回	1998年	小田嶋康夫	金沢医科大学総合医学研究所基礎医科学研究部門	金沢市文化ホール(金沢)
第9回	1999年	井上 勝一	北海道大学院地球環境科学研究所	北海道大学学術交流会館他(札幌)
第10回	2000年	杉下 匡	佐々木研究所附属杏雲堂病院婦人科	明治大学リパティータワー(東京)
第11回	2001年	佐々木功典	山口大学第二病理	宇部市文化会館(山口)
第12回	2002年	高本 滋	愛知医科大学輸血部	愛知医科大学本館(愛知)
第13回	2003年	中原 一彦	東京大学医学部臨床検査医学	東京大学医学部教育研究棟(東京)
第14回	2004年	澤田 俊夫	群馬県立がんセンター	ホテルメトロポリタン高崎(群馬)
第15回	2005年	鶴澤 正仁	愛知医科大学小児科	名古屋国際会議場(愛知)
第16回	2006年	田川 泰	長崎大学医学部保健学科	長崎ブリックホール国際会議場(長崎)
第17回	2007年	中内 啓光	東京大学医科学研究所ヒト疾患モデル研究センター	東京ディズニーリゾートホテルサンルート(千葉)
第18回	2008年	安田 允	東京慈恵会医科大学第三病院産婦人科	東京慈恵会医科大学大学1号館3階、5階講堂(東京)
第19回	2009年	池口 正英	島根大学医学部生体防御外科	松江テルサ(島根)
第20回	2010年	坂本 優	佐々木研究所附属杏雲堂病院婦人科	東京慈恵会医科大学大学1号館3階、5階講堂(東京)
第21回	2011年	藺田 精昭	関西医科大学大学院医学研究科先端医療学専攻 修復医療応用系幹細胞生物学	京都市国際交流会館(京都)
第22回	2012年	森 正樹	大阪大学大学院消化器外科	千里ライフサイエンスセンター(大阪)
第23回	2013年	天神 敏博	日本医科大学武蔵小杉病院外科	日本医科大学同窓会館(東京)
第24回	2014年	野村 昌作	関西医科大学内科学第一講座	関西医科大学(大阪)
第25回	2015年	落合 和彦	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター産婦人科	お茶の水 ソラシティカンファレンス(東京)
第26回	2016年	加藤 聖子	九州大学大学院医学研究院生殖病態生理学分野	九州大学百年講堂(福岡)
第27回	2017年	掛地 吉弘	神戸大学大学院食道胃腸外科	神戸国際会議場(神戸)
第28回	2018年	松崎 有未	島根大学医学部腫瘍生物学	東京医科歯科大学 鈴木章夫講堂(東京)
第29回	2019年	小松 則夫	順天堂大学医学部内科学血液学講座	順天堂大学(東京御茶ノ水)
第30回	2020年	浅井 昭雄	関西医科大学脳神経外科	誌上開催
第31回	2021年	岡田 誠治	熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 造血・腫瘍制御学分野	WEB開催
第32回	2022年	後藤 典子	金沢大学がん進展制御研究所・新学術創成研究機構 分子病態研究分野	WEB開催
第33回	2023年	高橋 良	杏林大学大学院医学研究科共同研究施設 フローサイトメトリー部門	オンライン開催(バーチャル会場)

# 開催概要

---

会議名：第33回日本サイトメトリー学会学術集会

The 33rd Annual Meeting of the Japan Cytometry Society

公式ホームページ：www.33jcs.com

会期：2023年7月22日(土)～23日(日)

会場：オンライン(oViceバーチャル会場、ポスター発表システム及びZOOM配信)

テーマ：#Collaboration

オンライン配信拠点(関係者のみ)：

金沢未来のまち創造館

〒921-8031 石川県金沢市野町3丁目11-1

TEL：076-280-3115



事務局：杏林大学医学部共同研究施設フローサイトメトリー部門

第33回日本サイトメトリー学会学術集会事務局

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

E-mail: 33thjcs@cytometry.jp

運営サポート事務局(緊急連絡先)：

田中昭文堂印刷株式会社 学会事業部

〒920-0377 石川県金沢市打木町東1448番

TEL：076-269-7788 FAX：076-269-7311

E-mail: tanaka@kagasaisei.jp

第33回日本サイトメトリー学会学術集会実行委員会：

会長(総合制作)

高橋 良(杏林大学大学院医学研究科共同研究施設フローサイトメトリー部門)

実行委員長

小賀 厚徳(山口大学大学院医学系研究科分子病理学)

実行委員

松崎 有未(島根大学医学部生命科学講座腫瘍生物学)

馬淵 洋(順天堂大学 大学院医学研究科)

松岡 由和(関西医科大学 ips・幹細胞再生医学講座)

古屋 智子(山口大学大学院医学系研究科分子病理学)

MC

ほり たかみ(FM軽井沢)

## 学会参加の方々へ

---

第33回日本サイトメトリー学会学術集会では、オンライン(ZOOM配信・oViceバーチャル会場・デジタルポスター会場)で学術集会を開催いたします。各オンラインシステムへのアクセスにはインターネットへの接続環境が必要です。

学術集会に参加される場合、オンラインによる参加登録が必要です。登録後、学会会場(参加者専用)ホームページへアクセスするためのURLとパスワードがメールで通知されます。本ページに全てのアクセス情報が掲載されています。参加招待者にはサポート事務局よりメールを差し上げます。

この参加登録は、日本サイトメトリー技術者認定制度において、認定更新における学会参加1回分としてカウントされます。

### 学会会場(参加者専用)ホームページ(要パスワード)

<https://www.33jcs.com/access/>

### 参加登録ページ <https://www.33jcs.com/regist/>

**参加登録期間** 2023年4月3日(月)～7月23日(日) 16:00

### 参加区分

1. 会員： 8,000円(会員番号の入力が必要です)
2. 非会員(アカデミア)： 10,000円
3. 学生(会員・非会員)： 2,000円
4. 非会員(企業)： 18,000円
5. 協賛企業： 1名様をご招待(スポンサーセミナー等の指定演題発表者・企業展示担当者をそれぞれ別途1名様ご招待)。ご招待枠以上でのご参加の場合、追加分は「会員」にてお申し込み下さい(詳細は運営サポート事務局までご相談ください)。

- ・一般演題発表は、参加費をお支払い頂いた方に限ります。
- ・学会会員の座長/キュレーター・演者の方は参加登録を行ってください。
- ・非会員の座長/キュレーター・指定演題演者の方には事務局より参加招待のご案内をいたします。
- ・プログラム・抄録集は参加費に含まれます。

参加費のお支払は、クレジットカード決済または銀行振り込みをご利用頂けます。銀行振込をご選択の方は、お申込み日から7日以内に銀行振込を行ってください。または、イベント当日から4日前までにお振込みください。銀行振込手数料は参加者様にてご負担いただきます。

### 決済システムPaybentで参加費をお支払いの皆様

参加申込時に自動でお送り致しましたメールに、オンライン会場へのアクセス情報を掲載している学会会場(参加者専用)ページへのアクセスURL及びパスワードを記載しております。Paybentからのメールが届いていない場合や紛失してしまった場合は、運営サポート事務局までお問い合わせください。

### ご招待の皆様へ

運営サポート事務局または学術集会事務局よりオンライン会場へのアクセス情報を掲載している学会会場(参加者専用)ページへのアクセスURL及びパスワードをメールにてお送りします。メールが届いていない場合、紛失してしまった場合は、運営サポート事務局までお問い合わせください。

## 参加証

参加証・領収書は、閉会后、随時メールにてお送りいたします。会期閉会后、お手元に届いていない方は運営サポート事務局(tanaka@kagasaisei.jp)まで、メールにてご連絡ください。ご連絡の際は、下記の内容をお書き添えください。

-----  
学会名：第33回日本サイトメトリー学会学術集会

問い合わせ内容：参加証・領収書(PDF)未着

申込者氏名：

申込者所属：

参加登録時のPayventの受付番号：  
-----

## 抄録集

一般社団法人日本サイトメトリー学会会員の皆様、参加登録された方、協賛企業様へ冊子で発送いたします。

## ご注意点・禁止行為

- ・サーバの障害やメンテナンスなど、当学術集会の責任の範囲外の原因により配信ができなかった場合、当学術集会の責任は問われないものとし、参加費等の返金等には応じません。
- ・バーチャル会場への同時最大ご入場可能者数は500人です。入場者数が500人を超え、バーチャル会場にご入場できない場合でも、当学術集会の責任は問われないものとし、参加費等の返金等には応じません。バーチャル会場の運用ステータスは、学会会場(参加者専用)ページ内に表示しています。
- ・ZOOM配信、ポスター発表システム、バーチャル会場へのご入場は、学術集会参加費をお支払いの方、ご登壇者、ご招待された方、協賛企業様のみとなっております。会場URLを他人へ教える行為は、「不正アクセス行為の禁止等に関する法律(不正アクセス禁止法)」に該当いたしますので、絶対にお止めください。
- ・バーチャル会場内の同時アクセス数に制限があるため、特別な許可が無い場合に限り、お一人様あたり1台の端末でご入場下さい。

禁止事項をお守りいただけない場合は、主催者の判断によりご退場いただく場合があります。

1. ZOOM配信画面、ポスター発表システム、バーチャル会場内を許可なく取材又は撮影(スクリーンショット)。
2. バーチャル会場への複数端末による同時入場。
3. バーチャル会場システム「oVice」の利用規約に反する行為。
4. バーチャル会場で本名・ご所属を明記しない場合。

## 懇親会

バーチャル会場で開催される懇親会に、参加者皆様をご招待いたします(無料)。

懇親会で開催するイベントで当選者に賞品をお送りする場合、協賛企業から直接送付する場合があります。この場合、運営サポート事務局より協賛企業へ送付先情報を共有いたします。提供する情報は、氏名、連絡先(ご住所、電話/FAX番号、電子メールアドレスを含む)とします。提供する個人情報の当該提供企業による利用目的は、賞品の発送だけに使用します。個人情報の共有の可否については、参加登録時に伺います。

## アンケート

バーチャル会場の入り口付近に簡単なアンケートを設置しております。今後の学術集会運営の為に、参加者の皆様からのご意見・ご感想を募集しております。

## 参加者の皆様へ

---

### ZOOM配信の視聴、バーチャル会場・デジタルポスター会場へのアクセス

サポート事務局からのメール、又は参加登録時にメールでお送りしました「学会会場(参加者専用)」ページへアクセスしてください(要パスワード)。招待参加者の皆様には、サポート事務局よりメールにてパスワードをお送りいたします。

### ZOOMウェビナー配信

「学会会場(参加者専用)」ページ記載の開催日専用ZOOMウェビナーURLにアクセスしてください。

### バーチャル会場

「学会会場(参加者専用)」ページ記載のバーチャル会場URLへアクセスしてください。本学術集会ではoViceプラットフォームを使用したバーチャル会場を開設しています。バーチャル会場取扱説明書をご用意しておりますので、御覧ください。バーチャル会場の使い方に慣れて頂くために、会期中だけではなく会期の約1ヶ月前より公開しております。バーチャル会場使い方講座を開催予定です。詳しくは学術集会ホームページを御覧ください。

### デジタルポスター会場(P-ROOM)

「学会会場(参加者専用)」ページ記載のデジタルポスター会場URLへアクセスしてください。詳しくは学術集会ホームページを御覧ください。

### ドレスコード

ご出演者の皆様はノーネクタイ・カジュアルな服装でご参加ください。

### 発表演題に関する利益相反(COI)の開示について

日本サイトメトリー学会では、学術集会演題発表に際し、利益相反の有無に関わらず発表する研究内容に関連する利益相反の開示が必要となります。筆頭演者の過去3年間における利益相反状態が対象です。掲示する内容はテンプレートに準じ作成し、デジタルポスター及び口演発表でそれぞれ開示を行ってください。

詳しくは一般社団法人日本サイトメトリー学会WEBサイトの利益相反(Conflict of Interest : COI)ページを御覧ください(発表用パワーポイントファイルもご用意しております)。

<https://www.cytometry.jp/member/coi>



# 一般演題発表者の皆様へ

---

一般演題は、P-ROOMによるデジタルポスター発表と、oViceバーチャル会場で開催するポスターディスカッションで短時間口演発表の両方を行っていただきます。発表者の方は必ず以下をよく読んでご準備ください。

## デジタルポスター発表(P-ROOM)

- ・ご登録者には登録方法をメールにてご案内いたします。
- ・一般演題発表者は、期限までにP-ROOMへPDFファイルをアップロードしてください。
- ・ご発表データはオーラル発表のようにMicrosoft PowerPoint等で複数ページで作成し、PDFファイルで出力してください。
- ・ファイルサイズの目安は10MB以下です。
- ・演題番号はメールでお送り致しました受付番号「33JCSXXX」の「XXX」です。

### ご発表プレゼンテーションには

- 1 ページ目にタイトル・発表者名・共同発表者名・所属を記載。
  - 2 ページ目に「利益相反の開示」を行ってください。
- ・P-ROOMデータ登録期限：**2023年7月16日(日)**まで
  - ・発表者用の説明書は学術集会ホームページをご参照ください。
  - ・ご不明な点がございましたら、サポート事務局までお問い合わせください。

## バーチャル会場で開催するポスターディスカッション

- ・**7月22日(土) 17:00~18:00** oViceバーチャル会場でポスターディスカッションを開催します。バーチャル会場では各発表者が画面共有機能を使用してお発表いただけます。
- ・発表時間は5分間・質疑応答は2分間です。
- ・画面共有が可能な媒体でプレゼンテーションを作成してください。ご発表メディアはデジタルポスターと同一でも構いませんし、口演専用で作成されても構いません。ただし、聴衆者が内容を理解できるようなボリュウム・フォントサイズで作成してください。
- ・ZOOM等の画面共有と異なり、通常よりも共有画面サイズが小さくなることにご留意ください。
- ・バーチャル会場取扱説明書をご用意しておりますので、御覧ください。
- ・画面共有の方法は、バーチャル会場取扱説明書13ページを御覧ください。
- ・セッション開始10分前までにバーチャル会場へお越しください。
- ・バーチャル会場使い方講座を開催予定です。詳しくは学術集会ホームページを御覧ください。

### 集合・発表場所：各ポスターセッションのサークル内

#### 会場毎の演題番号と座長

**A会場：P-01~04,16,17**

座長：岡田 誠治(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 造血・腫瘍制御学分野)

**B会場：P-05~10,19,20**

座長：松岡 由和(関西医科大学 iPS・幹細胞再生医学講座)

**C会場：P-11~15,18**

座長：小賀 厚徳(山口大学大学院医学系研究科分子病理学)

### ご発表プレゼンテーションは

- 1 ページ目にタイトル・発表者名・共同発表者名・所属を記載。
- 2 ページ目に「利益相反の開示」を行ってください。

## ZOOM配信で発表する下記演者/座長の皆様へ

---

シンポジウム 1 ・ スポンサーセミナー 1 ・ 教育講演 ・ 症例カンファレンス ・  
スポンサーセミナー 2 ・ 特別講演

演者の皆様には、サポート事務局よりメールにて ZOOMウェビナーアクセス用URLをお送りいたします。

ご発表プレゼンテーションは

- 1 ページ目にタイトル・発表者名・共同発表者名・所属を記載。
- 2 ページ目に「利益相反の開示」を行ってください。

## バーチャル会場で発表する演者/座長/ご担当者様へ

---

シンポジウム 2 / 3 ・ 特別/教育講演AFTER TALK SESSION ・ スポンサーミニセミナー ・  
FCMよろず相談所 ・ 企業展示

バーチャル会場でご発表頂く演者の皆様(ポスターディスカッションを除く)には、サポート事務局よりメールにてアクセスURLをお送りいたします。

ご発表のプレゼンテーションは

- 1 ページ目にタイトル・発表者名・共同発表者名・所属を記載。
- 2 ページ目に「利益相反の開示」を行ってください。

- ・セッション開始10分前までにバーチャル会場へお越しください。
- ・バーチャル会場取扱説明書をご用意しておりますので、御覧ください。
- ・画面共有の方法は、バーチャル会場取扱説明書13ページを御覧ください。
- ・バーチャル会場使い方講座を開催予定です。詳しくは学術集会ホームページを御覧ください。

集合場所：

- ・シンポジウム 2 / 3 及びスポンサーミニセミナー：井の頭メインホール
- ・特別講演AFTER TALK SESSION(立松先生)：野辺山45m電波望遠鏡ホール
- ・教育講演AFTER TALK SESSION(茂呂先生)：大阪たこ焼きホール
- ・シンポジウム 1 (大倉先生)：大阪お好み焼きホール
- ・FCMよろず相談所：各ブース
- ・企業展示：各ブース

# プログラム

The 33rd Annual Meeting of the Japan Cytometry Society

# 7月22日（土） 会場別タイムテーブル

	ZOOM	oViceバーチャル会場	P-ROOM
	ZOOM ch	井の頭メインホール	サテライトホール 大阪お好み焼きホール 大阪たこ焼きホール FCMよろず相談所 企業展示
10:00	10:00 - 10:30 オープニング		ポスター発表  24時間OPEN <b>P</b>
11:00	10:30 - 12:00 シンポジウム1 #Collaboration_1 NGS EXPO x JCS コラボシンポジウム		
12:00	12:00 - 13:00 スポンサーセミナー1 日本BD株式会社 <b>C</b>		
13:00	13:00 - 14:30 教育講演 茂呂和世先生 大阪大学大学院生体防御学/ 理研IMS自然免疫システム 研究チーム		
14:00		oVice使い方講座	
15:00		15:00 - 15:30 スポンサーミニセミナー 日本BD株式会社 <b>C</b>	
16:00		15:30 - 16:50 シンポジウム2 #Collaboration_2 座談会：共同研究施設の実情とこれから <b>S</b>	
16:50		16:50~17:00 ポスターディスカッション専用レイアウトに変更	
17:00		17:00 - 18:00 ポスター ディスカッション <b>P</b>	
18:00		18:00~18:10 オンライン懇親会専用レイアウトに変更	
18:10		18:10 - 19:30 オンライン懇親会	
19:00			

**S** = シンポジウム    **C** = スポンサーセミナー    **A** = AfterTalkSession    **P** = 一般演題

# 7月23日（日） 会場別タイムテーブル

	ZOOM	oViceバーチャル会場	サテライトホール 野辺山45m電波望遠鏡 ホール FCMよろず相談所 企業展示	P-ROOM
	ZOOM ch	井の頭メインホール		ポスター発表
10:00	10:00 - 10:30			24時間OPEN <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">P</span>
10:10	オープニング			
10:20				
10:30				
10:40				
11:00	10:30 - 12:00	11:00 - 11:20		
11:10	症例カンファレンス	企業展示訪問		
11:20				
11:30				
11:40				
11:50				
12:00	12:00 - 13:00			
12:10	スポンサーセミナー2			
12:20	ベックマン・			
12:30	コールター株式会社 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">C</span>			
12:40				
12:50				
13:00	13:00 - 14:30			
13:10	(特別配信URL)			
13:20	特別講演/市民公開講演			
13:30				
13:40				
13:50				
14:00	立松健一先生			
14:10	国立天文台			
14:20	野辺山宇宙電波観測所所長			
14:30		oVice使い方講座		
14:40			14:30	
14:50			AfterTalkSession	
15:00			立松健一先生 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">A</span>	
15:10			FCM	
15:20			よろず	
15:30			相談所	
15:40				
15:50				
16:00		15:30 - 17:00		
16:10		シンポジウム3		
16:20		#Collaboration 3		
16:30		日本サイトメトリー技術者認定協議会コラボシンポジウム		
16:40				
16:50				
17:00		17:00 - 17:30		
17:10		会長講演		
17:20				
17:30		17:30 - 18:00		
17:40		表彰式・社員総会		
17:50				
18:00				
18:10				
18:20				
18:30				
18:40				
18:50				
19:00				

S = シンポジウム    C = スポンサーセミナー    A = AfterTalkSession    P = 一般演題

---

**プログラム 7月22日(土)**


---

**ZOOMウェビナー**
**10:00-10:30 オープニング**

会長挨拶： 高橋 良 会長  
 事務局長挨拶： 伊藤 量基 事務局長  
 実行委員長挨拶： 小賀 厚徳 実行委員長  
 バーチャル会場の説明：高橋 良 会長

**#Collaboration 1**
**10:30-12:00 シンポジウム 1 [NGS EXPO x JCSコラボシンポジウム]  
「シングルセル解析で何がわかるのか？」**

座長：大倉 永也(大阪大学免疫学フロンティア研究センター(IFReC))  
 馬淵 洋(順天堂大学大学院医学研究科)

- S1-1 シングルセル解析による新たな癌免疫療法のターゲット同定  
○大倉 永也(大阪大学免疫学フロンティア研究センター)
- S1-2 シングルセル解析の現状と今後について  
○元岡 大祐(大阪大学微生物病研究所)
- S1-3 包括的解析によりクローン病で同定された組織局在性T細胞サブセットの病態形成への役割  
○村上 真理<sup>1)</sup>、横井 健人<sup>2)</sup>、荒瀬 充<sup>1)</sup>、竹田 潔<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>大阪大学大学院医学系研究科 免疫制御学  
<sup>2)</sup>同 小児科学
- S1-4 1細胞トランスクリプトーム解析技術 -wetからdryまで-  
○小口 綾貴子<sup>1)</sup>、村川 泰裕<sup>2)</sup>  
<sup>1)</sup>理化学研究所生命医科学研究センター 理研-IFOMがんゲノミクス連携研究チーム  
<sup>2)</sup>京都大学高等研究院ヒト生物学高等研究拠点(ASHBi)

※終了後、14:40-15:30にoViceバーチャル会場 大阪お好み焼きホールにてAfterTalkSessionを行います。

12:00-13:00 **スポンサーセミナー 1**

共催：日本ベクトン・ディッキンソン(株)

座長：山口 亮(日本ベクトン・ディッキンソン(株) バイオサイエンス事業部 アプリケーションサポートグループ)

“フローサイトメトリーを次のステージへ”

～BD バイオサイエンスのフローサイトメトリーの新技术(多次元解析、次世代 高速イメージングセルソーター)を基礎から臨床応用までご紹介～

○奥田 美雪

日本ベクトン・ディッキンソン(株) バイオサイエンス事業部 アプリケーションサポートグループ

13:00-14:30 **教育講演**

座長：高橋 良(杏林大学大学院医学研究科共同研究施設フローサイトメトリー部門)  
伊藤 量基(関西医科大学 内科学第一講座)

2型自然リンパ球の発見から臨床研究まで～サイトメーターの子守歌に育てられ～

茂呂 和世

大阪大学医学系研究科 生体防御学教室 教授

理化学研究所生命医科学研究センター 自然免疫システム チームリーダー

大阪大学免疫学フロンティア研究センター(IFReC)免疫・アレルギー教室 教授

大阪大学大学院生命機能研究科 生体防御学教室 教授

※終了後、14:40-15:30にoViceバーチャル会場 大阪たこ焼きホールにてAfterTalkSessionを行います。

**oViceバーチャル会場 井の頭メインホール**

14:30-14:40 **oVice使い方講座**

15:00-15:30 **スポンサーミニセミナー**

共催：日本ベクトン・ディッキンソン(株)

座長：結城 啓介(日本ベクトン・ディッキンソン(株) バイオサイエンス事業部 アプリケーションサポートグループ)

BD Rhapsody™ シングルセル解析システムの原理と特徴

～フローサイトメーターとシングルセル解析のトータルワークフロー例のご紹介～

○安田 剛

日本ベクトン・ディッキンソン(株) バイオサイエンス事業部 アプリケーションサポートグループ

## #Collaboration 2

15:30-16:50 シンポジウム2【ラウンドテーブル「座談会：共同研究施設の実情とこれから」】

キュレーター：高橋 良(杏林大学大学院医学研究科 共同研究施設フローサイトメトリー部門)  
石井 有実子(東京医科歯科大学統合研究機構リサーチコアセンター/CytoWorks主宰)

S2-C1 ○高橋 良(杏林大学大学院医学研究科 共同研究施設フローサイトメトリー部門)

S2-C2 ○石井 有実子  
(東京医科歯科大学統合研究機構リサーチコアセンター/CytoWorks主宰)S2-1 ○佐藤 奈津子  
(東京大学医科学研究所 臨床フローサイトメトリーラボ・(株)LSIメディエンス)S2-2 ○岡田 義則  
(東海大学メディカルサイエンスカレッジオフィス(生命科学統合支援ユニット))

S2-3 ○森 加奈恵(佐賀大学 総合分析実験センター)

S2-4 ○石田 美雪(京都大学 ASHBi)

S2-5 ○山崎 聡(筑波大学 医学医療系幹細胞治療研究室)

S2-6 ○與座 法子(理化学研究所生命医科学研究センター FACSラボ)

## oViceバーチャル会場 大阪お好み焼きホール

14:40-15:30 シンポジウム1【NGS EXPO x JCSコラボシンポジウム】AfterTalkSession

座長：大倉 永也(大阪大学免疫学フロンティア研究センター (IFReC))  
馬淵 洋(順天堂大学大学院医学研究科)

## oViceバーチャル会場 大阪たこ焼きホール

14:40-15:30 教育講演 茂呂和世先生 AfterTalkSession

座長：高橋 良(杏林大学大学院医学研究科 共同研究施設フローサイトメトリー部門)  
伊藤 量基(関西医科大学 内科学第一講座)

## oViceバーチャル会場 FCMよろず相談所 東

14:30-16:30 基礎研究分野

山口 亮、奥田 美雪  
Supported by 日本ベクトン・ディッキンソン(株)



**oViceバーチャル会場 FCMよろず相談所 西**

14:30-16:30 基礎研究分野

齋藤 滋、豊島 哉子

Supported by ベックマン・コールター株式会社

**oViceバーチャル会場 ポスターディスカッション会場**

16:50-17:00 バーチャル会場レイアウト変更

17:00-18:00 ポスターディスカッション

会場・演題番号及び座長

A会場：P-01～04,16,17

岡田 誠治(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 造血・腫瘍制御学分野)

B会場：P-05～10,19,20

松岡 由和(関西医科大学 iPS・幹細胞再生医学講座)

C会場：P-11～15,18

小賀 厚徳(山口大学大学院医学系研究科 分子病理学)

**P-01**

Single cell phenotyping reveals therapeutic predictors and new targets for relapsed/refractory acute lymphoblastic leukemia

○Kenichi Ishiyama<sup>1)</sup>, Astrid Wintering<sup>2)</sup>, Stanley Tamaki<sup>3)</sup>, Courtney Tamaki<sup>3)</sup>, Joshua Fandel<sup>3)</sup>, Mignon L. Loh<sup>4)</sup>, and Ernesto Diaz-Flores<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>Kyoto university hospital, Department of Hematology and Oncology

<sup>2)</sup>Department of Pediatrics, Benioff Children's Hospital, and the Helen Diller Family Comprehensive Cancer Center

<sup>3)</sup>Parnassus Flow Cytometry Core, University of California San Francisco, San Francisco, CA,

<sup>4)</sup>Department of Pediatrics, Seattle Children's Hospital, University of Washington, Seattle, WA

**P-02**

表面免疫グロブリン軽鎖の共発現を呈した血管内大細胞型B細胞性リンパ腫の一例

○寺本 継脩<sup>1)</sup>、井上 雄介<sup>2)</sup>、藤井 志朗<sup>3)</sup>、漆原 南実<sup>2)</sup>、菅崎 幹樹<sup>2)</sup>、森河 由里子<sup>2)</sup>、中尾 隆之<sup>2)</sup>、西岡 安彦<sup>4)</sup>、佐田 政隆<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup>徳島大学病院

<sup>2)</sup>同 医療技術部臨床検査技術部門

<sup>3)</sup>同 血液内科

<sup>4)</sup>同 検査部

## P-03

**Establishment and characterization of a novel patient-derived NPM-ALK+ anaplastic large cell lymphoma cell line**

○Prin Sungwan<sup>1)</sup>, Jutatip Panaampon<sup>1,2)</sup>, Kazutaka Kikuta<sup>3)</sup>, Kaoru Hirabayashi<sup>4)</sup>, and Seiji Okada<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>Division of Hematopoiesis, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection & Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University

<sup>2)</sup>Division of Hematologic Neoplasia, Department of Medical Oncology, Dana-Farber Cancer Institute, Harvard Medical School

<sup>3)</sup>Division of Musculoskeletal Oncology and Orthopaedics Surgery, Tochigi Cancer Center

<sup>4)</sup>Division of Diagnostic Pathology, Tochigi Cancer Center

## P-04

**深層学習に基づくイメージサイトメトリーによる直腸癌の新規予後因子の探索**

○山下 公大<sup>1)</sup>、長坂 暢<sup>2)</sup>、澤田 隆一郎<sup>1)</sup>、長谷川 寛<sup>1)</sup>、松田 武<sup>1)</sup>、小寺澤 康文<sup>1)</sup>、裏川 直樹<sup>1)</sup>、後藤 裕信<sup>1)</sup>、金治 新悟<sup>1)</sup>、押切 太郎<sup>1)</sup>、掛地 吉弘<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>神戸大学大学院医学研究科外科学講座 食道胃腸外科学分野

<sup>2)</sup>医療法人AIキュレーション協会

## P-05

**セルソーターMA900を用いたヒトT細胞機能解析用12色パネルの開発**

○中島 悠策、世取山 翼、Claudia Krause、村瀬 本弥、佐藤 真理恵、二村 孝治、林 義治、古木 基裕  
ソニー株式会社

## P-06

**マクロファージ特異的なPHDノックアウトは全身性炎症モデルで炎症を抑制する**

○宮本 彩子<sup>1)</sup>、川上 貴久<sup>1)</sup>、高橋 良<sup>2)</sup>、川嶋 聡子<sup>1)</sup>、池谷 紀子<sup>1)</sup>、岸本 暢将<sup>1)</sup>、駒形 嘉紀<sup>1)</sup>、要 伸也<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>杏林大学医学部附属病院 腎臓・リウマチ膠原病内科

<sup>2)</sup>杏林大学大学院医学研究科共同研究施設 フローサイトメトリー部門

## P-07

**Flow-FISH法を用いた間葉系細胞における表面抗原とmRNAの同時解析**

○渡辺 恵理<sup>1,3)</sup>、土屋 加寿美<sup>1,3)</sup>、佐藤 奈津子<sup>1,3)</sup>、勝俣 宏伸<sup>1,3)</sup>、高橋 敦子<sup>2)</sup>、長村 登紀子<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>東京大学医科学研究所 臨床フローサイトメトリー・ラボ

<sup>2)</sup>同 セルプロセッシング・輸血部

<sup>3)</sup>株式会社LSIメディエンス

## P-08

**CD34抗原の発現はSCID-repopulating cellの活性に必須ではない**

○松岡 由和

関西医科大学 iPS・幹細胞再生医学講座

## P-09

**再生医療における創傷治癒を促す新たな被覆材となる乾燥線維芽細胞シートの開発**

○松野 祐太朗<sup>1)</sup>、柳原 正志<sup>1)</sup>、上野 耕司<sup>1)</sup>、藏澄 宏之<sup>1)</sup>、鈴木 亮<sup>1)</sup>、桂 春作<sup>1)</sup>、小賀 厚徳<sup>2)</sup>、濱野 公一<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>山口大学大学院医学系研究科 器官病態外科学講座

<sup>2)</sup>同 分子病理学

## P-10

### 膠様滴状角膜ジストロフィ患者由来iPS細胞を用いた疾患モデルの作製

○金川 竜也<sup>1)</sup>、松岡 由和<sup>1)</sup>、佐々木 香<sup>2)</sup>、人見 浩史<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>関西医科大学 iPS・幹細胞再生医学講座

<sup>2)</sup>同 眼科学講座

## P-11

### ワイヤレス温度ロガーとクラウドサービスを用いたFCM機器モニタリングシステムの開発

○高橋 良<sup>1)</sup>、大山 学<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup>杏林大学大学院医学研究科共同研究施設 フローサイトメトリー部門

<sup>2)</sup>杏林大学医学部 皮膚科学教室

## P-12

### フローサイトメーターを用いた、医薬・検査薬に適した高親和性構造認識モノクローナル抗体を短期間で取得する作製法および構造認識能の簡単な評価法の開発

○坂口 敦美<sup>1)</sup>、田中 陽一郎<sup>2)</sup>、松葉 隆雄<sup>3)</sup>、酒巻 里菜<sup>3)</sup>、栗原 靖之<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup>東京工業大学 オープンファシリティセンター

<sup>2)</sup>横浜国立大学 機器分析評価センター

<sup>3)</sup>東ソー株式会社

<sup>4)</sup>横浜国立大学 工学研究院

## P-13

### 山口大学のバーチャルスライドサーバー改築時の諸問題

○小賀 厚徳

山口大学大学院医学系研究科 分子病理学

## P-14

### CAR-T細胞療法用CD3陽性細胞数測定法及び採取予測の検討

○大田 竜誠、宮本 京子、清島 久美、亀井 美沙、前田 裕亮

九州大学病院 遺伝子・細胞療法部

## P-15

### 末梢血におけるCD172aの発現分布解析

○渡辺 莉乃<sup>1)</sup>、佐々木 真白<sup>2)</sup>、宮崎 愛斗<sup>2)</sup>、藤本 友香<sup>2)</sup>、神宮 大輝<sup>2)</sup>、大西 浩史<sup>4)</sup>、長田 誠<sup>2,3)</sup>、  
松下 誠<sup>2,3)</sup>、藤田 清貴<sup>2,3)</sup>、林 由里子<sup>2,3)</sup>

<sup>1)</sup>群馬パース大学

<sup>2)</sup>群馬パース大学医療技術学部 検査技術学科

<sup>3)</sup>群馬パース大学大学院 保健科学研究科

<sup>4)</sup>群馬大学大学院保健学研究科 生体情報検査科学講座

## P-16

周産期におけるFlow Cytometerを用いたIgGサブクラス解析と単球貪食試験による胎児新生児溶血性疾患の重症度評価の検討

○蓮沼 秀和<sup>1)</sup>、大滝 皓生<sup>1)</sup>、石田 智子<sup>1)</sup>、岩下 洋一<sup>1)</sup>、町田 保<sup>1)</sup>、丹 麻美<sup>2)</sup>、岡野 正道<sup>3)</sup>、中尾 三四郎<sup>4)</sup>、清水 直美<sup>1,4)</sup>

<sup>1)</sup> 東邦大学医療センター佐倉病院 輸血部

<sup>2)</sup> 千葉市立海浜病院 臨床検査科

<sup>3)</sup> 水戸済生会総合病院 臨床検査科

<sup>4)</sup> 東邦大学医療センター佐倉病院 血液内科

## P-17

乳がん細胞はミトコンドリア内1炭素代謝酵素MTHFD1Lを用いて肺転移を起こす

○本宮 綱記<sup>1)</sup>、楠木 啓主<sup>1)</sup>、Yuming Wang<sup>1)</sup>、西村 建徳<sup>1,2)</sup>、竹内 康人<sup>1)</sup>、後藤 典子<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 金沢大学がん進展制御研究所 分子病態研究分野

<sup>2)</sup> 名古屋大学医学系研究科 腫瘍生物学

## P-18

比較 多色解析：

Comparison Multicolor Analysis. Which FACS machine should I end up using?

○光永 佳奈枝

熊本大学 発生医学研究所

## P-19

COVID-19 mRNAワクチン接種前におけるSpikeタンパクに対するCD4+ T細胞免疫

○三村 由香<sup>1)</sup>、三村 雄輔<sup>1)</sup>、土居 恵子<sup>2)</sup>、大輝 佑一<sup>3)</sup>、角川 智之<sup>2,3)</sup>

<sup>1)</sup> 国立病院機構山口宇部医療センター 臨床研究部

<sup>2)</sup> 山口大学医学部 呼吸器・健康長寿講座

<sup>3)</sup> 医療法人和同会 防府リハビリテーション病院

## P-20

BD Cytometric Beads Array (CBA)の基礎的検討

○中村 早希、秋江 健太、飯田 美智子、宮浦 晟、中村 啓成、川村 公彦、神保 袖衣、秋元 成美、菊部 正宏、山川 博史

国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院

### oViceバーチャル会場 企業展示ブース

17:30-17:50 高橋会長による企業展示ブース訪問

### oViceバーチャル会場 懇親会ホール

18:00-18:10 バーチャル会場レイアウト変更

18:10-19:30 オンライン懇親会

## プログラム 7月23日(日)

### ZOOMウェビナー

10:00-10:30 オープニング

会長挨拶： 高橋 良 会長  
バーチャル会場の説明：高橋 良 会長

10:30-12:00 症例カンファレンス

座長： 稲葉 亨(京都府立大学 臨床検査部)  
棚田 浩子(大阪医科大学 中央検査部)

#### C1-1

胸水検体のフローサイトメトリー検査が有用であったPrimary effusion lymphoma-like lymphomaの一症例

○寺島 道子<sup>1)</sup>、常名 政弘<sup>1)</sup>、宮脇 綾<sup>1)</sup>、小野 佳一<sup>1)</sup>、西川 真子<sup>1)</sup>、篠 将広<sup>2)</sup>、田岡 和城<sup>2)</sup>、黒川 峰夫<sup>2)</sup>、  
蔵野 信<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 東京大学医学部附属病院 検査部

<sup>2)</sup> 同 血液腫瘍内科

#### C1-2

TAF15::ZNF384融合遺伝子陽性B-ALLの1症例

○芳沢 杏美<sup>1)</sup>、一色 美和<sup>1)</sup>、由利 麻衣子<sup>2)</sup>、堀内 裕紀<sup>1)</sup>、谷口 明德<sup>3)</sup>、藤村 純也<sup>3)</sup>、田部 陽子<sup>1)</sup>、  
佐藤 尚武<sup>1)</sup>、三井田 孝<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 順天堂大学医学部 臨床検査医学

<sup>2)</sup> 順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床検査部

<sup>3)</sup> 順天堂大学医学部 小児・思春期科

#### C1-3

2つのクローンからなる末梢性T細胞リンパ腫，非特異型の背景に血管免疫芽球性T細胞リンパ腫の潜在が疑われた症例

○茶木 善成<sup>1)</sup>、林田 雅彦<sup>1)</sup>、前川 ふみよ<sup>1)</sup>、竹岡 加陽<sup>1)</sup>、小橋 陽一郎<sup>2)</sup>、大野 仁嗣<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 公益財団天理よろづ相談所 医学研究所

<sup>2)</sup> 公益財団天理よろづ相談所病院 病理診断科

#### C1-4

多発性骨髄腫鑑別のための骨髄穿刺において形態学的およびFCM所見からリンパ形質細胞性リンパ腫が疑われた一症例

○上野山 恭平<sup>1)</sup>、中西 良太<sup>1)</sup>、池本 敏行<sup>1)</sup>、日置 綾奈<sup>1)</sup>、堀之内 晶子<sup>1)</sup>、細井 澄枝<sup>1)</sup>、村田 誠<sup>2)</sup>、  
九嶋 亮治<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 滋賀医科大学医学部附属病院 検査部

<sup>2)</sup> 同 血液内科

## C1-5

## MALTリンパ腫の経過中にT細胞リンパ腫を発症した1症例

○大久保 礼由<sup>1)</sup>、菅原 新吾<sup>1)</sup>、鈴木 千恵<sup>1)</sup>、石塚 静江<sup>1)</sup>、牧 優治<sup>1)</sup>、吉岡 翔<sup>1)</sup>、藤巻 慎一<sup>1)</sup>、加藤 浩貴<sup>1,2)</sup>、市川 聡<sup>2)</sup>、福原 規子<sup>2)</sup>、亀井 尚<sup>1,3)</sup>

<sup>1)</sup> 東北大学病院 診療技術部検査部門

<sup>2)</sup> 東北大学大学院医学系研究科 血液内科学分野

<sup>3)</sup> 同 消化器外科学分野

## C1-6

## CAR-T療法後再発時にCD19が陰性化したDLBCLの1例

○加藤 萌香<sup>1)</sup>、松本 和道<sup>1)</sup>、田中 千晴<sup>1)</sup>、野村 鮎美<sup>1)</sup>、森 教子<sup>1)</sup>、抱 章子<sup>1)</sup>、西村 博志<sup>1)</sup>、谷野 洋子<sup>1)</sup>、稲葉 亨<sup>1)</sup>、黒田 純也<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 京都府立医科大学附属病院 臨床検査部

<sup>2)</sup> 同 血液内科

12:00-13:00 スポンサーセミナー 2

共催：ベックマン・コールター株式会社

座長：伊藤 俊行(ベックマン・コールター株式会社 ライフサイエンス フローサイトメトリー事業本部 事業本部長)

## 今さら聞けない2 サイトメトリーデータ解析と機械学習：信頼性向上と自動化への指向

○中根 優子

ベックマン・コールター株式会社 ライフサイエンス フローサイトメトリー事業本部Cytobankプロダクトマネジャー

## ZOOMウェビナー(特別配信)

※午前中からのZOOM配信とは別に設定した配信URLとなります。

詳細は学術集会ホームページを御覧ください。

<https://www.33jcs.com/program/special/>

## #Collaboration 4

13:00-14:30 特別講演(市民公開講演)

座長：高橋 良(杏林大学大学院医学研究科 共同研究施設フローサイトメトリー部門)  
古屋 智子(山口大学大学院医学系研究科 分子病理学)

星座のお話、そして野辺山宇宙電波観測所で発見したブラックホールのお話、そして観測所の現状と未来

立松 健一  
国立天文台・教授  
野辺山宇宙電波観測所長  
総合研究大学院大学教授

※終了後、14:40-15:30にoViceバーチャル会場 野辺山45m電波望遠鏡ホールにてAfterTalkSessionを行います。

## oViceバーチャル会場 企業展示ブース

11:00-11:20 高橋会長による企業展示ブース訪問

## oViceバーチャル会場 井の頭メインホール

14:30-14:40 oVice使い方講座

## #Collaboration 3

15:30-17:00 シンポジウム3【日本サイトメトリー技術者認定協議会 x JCSコラボシンポジウム】

座長：野村 昌作(関西医科大学総合医療センター・協議会会長)  
伊藤 秀明(愛知医科大学病理学・カリキュラム委員)

### S3-1

形態観察を踏まえたFCM検査データの解析

○常名 政弘  
東京大学医学部附属病院 検査部

### S3-2

FCMによる急性骨髄性白血病(AML)解析の進め方

○鶴田 一人、山内 俊輔、吉村 麻衣、森 沙耶香、長谷川 寛雄、柳原 克紀  
長崎大学病院 検査部

### S3-3

骨髄異形成症候群(MDS)におけるフローサイトメトリー測定の有用性

○池亀 彰茂  
香川県立保健医療大学 保健医療学部臨床検査学科

## S3-4

認定試験到達目標(カリキュラム)の改定に向けて

○林田 雅彦

公益財団法人天理よろづ相談所医学研究所

17:00-17:30 会長講演

座長：小賀 厚徳(山口大学大学院 医学系研究科 分子病理学)

日本サイトメトリー学会初のバーチャル会場開催は成功したのか？

○高橋 良(杏林大学大学院医学研究科 共同研究施設フローサイトメトリー部門)

17:30-18:00 表彰式・社員総会

## oViceバーチャル会場 野辺山45m電波望遠鏡ホール

14:40-15:30 特別講演 立松 健一先生AfterTalkSession

座長：高橋 良(杏林大学大学院医学研究科 共同研究施設フローサイトメトリー部門)  
古屋 智子(山口大学大学院医学系研究科 分子病理学)

## oViceバーチャル会場 FCMよろず相談所 東

14:30-16:30 クリニカル分野

四ノ宮 隆師、小高 智之  
Supported by 日本ベクトン・ディッキンソン(株)

## oViceバーチャル会場 FCMよろず相談所 西

14:30-16:30 クリニカル分野

方波見 浩二  
Supported by ベックマン・コールター株式会社

## ポスター発表(P-ROOM)

会期中24時間OPEN



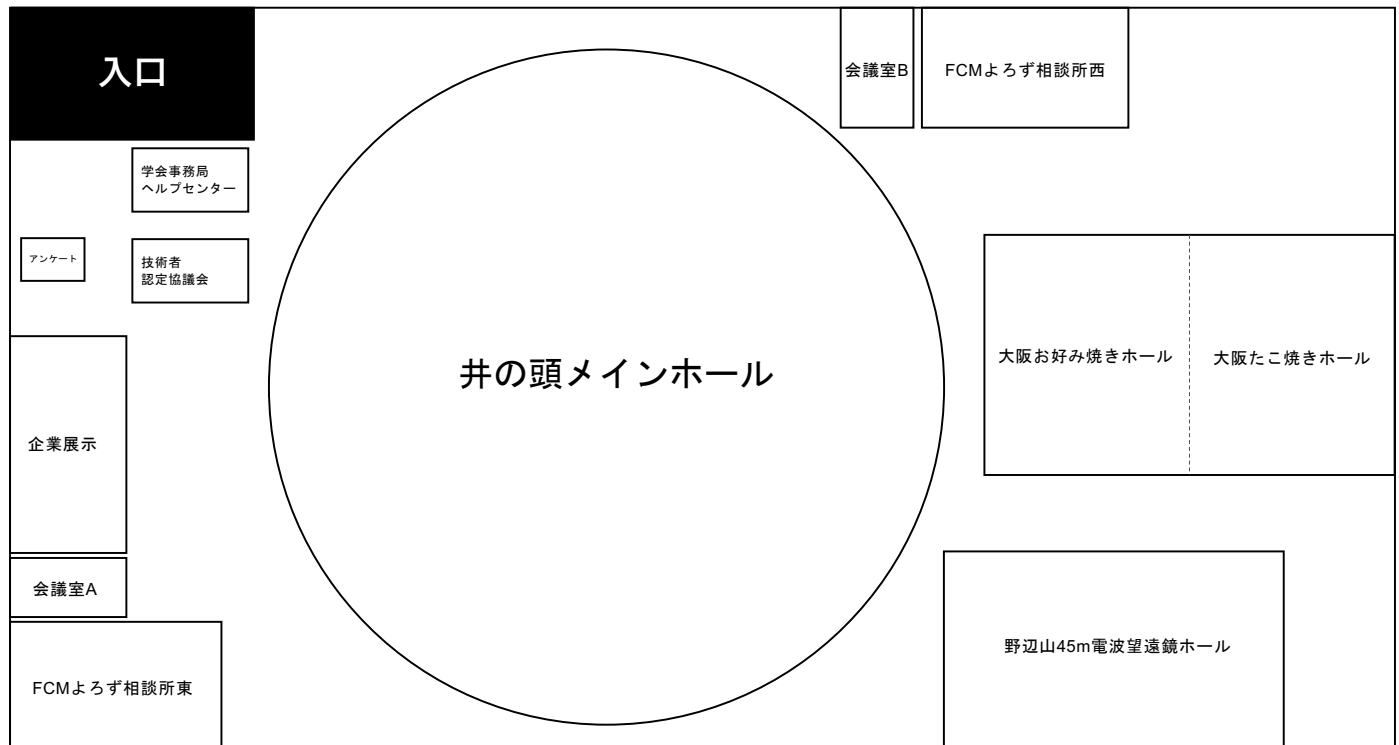
# oViceバーチャル会場

The 33rd Annual Meeting of the Japan Cytometry Society

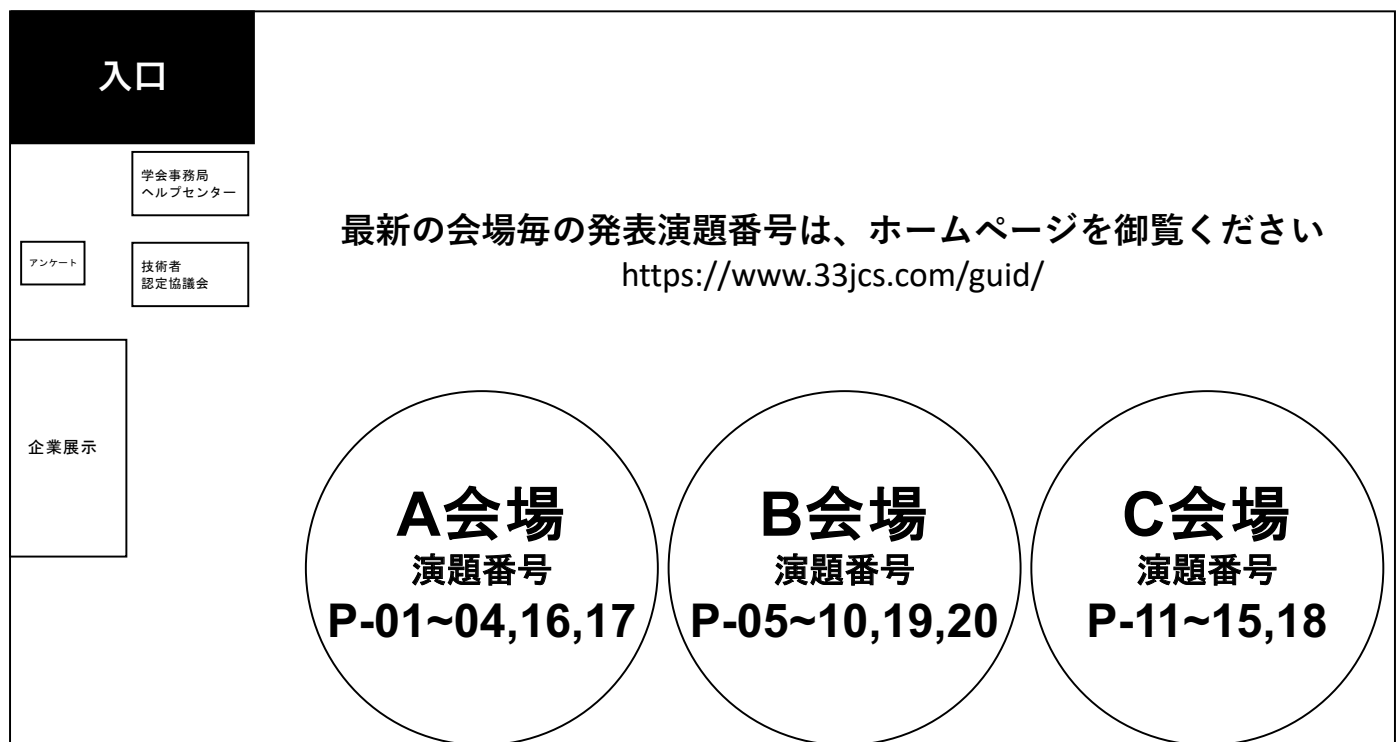
# oViceバーチャル会場マップ

7月22日：スポンサーミニセミナー・シンポジウム2・AfterTalkSession・FCMよろず相談所

7月23日：シンポジウム3・会長講演・社員総会



7月22日：ポスターディスカッション



特別講演  
教育講演  
会長講演

The 33rd Annual Meeting of the Japan Cytometry Society

## 特別講演(市民公開講演)

#Collaboration4 大学共同利用機関法人

7月23日(日) 13:00~14:30

ZOOMウェビナー(専用配信)

座長：高橋 良・古屋 智子

後援：TSBテレビ信州

## 星座のお話、そして野辺山宇宙電波観測所で発見したブラックホールのお話、そして観測所の現状と未来



SP

### 立松 健一(天文学者)

国立天文台 教授・野辺山宇宙電波観測 所長

総合研究大学院大学 教授

### 夏の星空の楽しみ方

まずは、夏に見える星空について説明します。織り姫・彦星のちょうど真ん中を流れるのが「天の川」。我々が住んでいる銀河系を真横から見ています。この天の川を、肉眼や、もしあれば双眼鏡で観察してほしいと思います。その観察方法のおすすめを紹介します。

### 黄道12星座

2番目は、誕生星座のお話をします。夏には「てんびん座」「さそり座」「いて座」といった星座がみられます。それ以外にも黄道12星座といって12個の星座が誕生星座に使われています。私は天文学者なので「占星術」は全く信じませんが(失礼!)、黄道12星座について、ほんの少しだけ科学的に説明します。

### 野辺山観測所とブラックホール

野辺山宇宙電波観測所の最大の発見の一つ、巨大ブラックホールについて説明します。ブラックホールというと、なんでも吸い込む怖いもののような気がしますが、恐れる必要は全くないことを説明します。ゲンツェル博士らがブラックホールでノーベル賞を取りましたが、誠に残念ながら野辺山の発見はノーベル賞になりませんでした。野辺山の発見と彼らの発見はどう違うのかを説明します。そして、現在野辺山で行っているブラックホールの研究を紹介します。

### 野辺山宇宙電波観測所の共同利用の歴史と新しい取り組み

野辺山宇宙電波観測所は、1982年に予算総額110億円をかけて建設され、開所されました。以来40年間、国内外の研究者に無料で共同利用の形で望遠鏡時間を提供してきました。2022年度から、新しい形として、利用者に時間当たりの利用料をいただく「有料望遠鏡時間」という新しい仕組みを開始しました。

また、科学研究費の基盤研究(S)(代表者：立松)の支援の下、大阪公立大学、電気通信大学、国立天文台アルマプロジェクトなどと協力し、新しい7つ目玉の受信機「7BEE」を製作し、野辺山宇宙電波観測所45m電波望遠鏡に搭載して、科学観測をはじめました。新しい受信機によって、宇宙に漂う雲の年代測定ができるようになり、もうすぐ星が生まれる「臨月の雲」の研究ができるようになってきていることを、ご紹介いたします。

### AfterTalkSession

▶日時：2023年7月23日(日)14:40~15:30

|会場|oViceバーチャル会場 野辺山45m電波望遠鏡ホール

講演会終了後、バーチャル会場で立松先生との交流親睦会を開催致します。

### 経歴

京都大学理学部卒業。京都大学大学院修士課程、名古屋大学大学院博士課程修了。理学博士。野辺山宇宙電波観測所研究員、テキサス大学研究員、茨城大学助手、国立天文台助教などを経て、2007年より国立天文台教授。ハッブル宇宙望遠鏡の10倍の視力を持つ国際電波望遠鏡プロジェクト「アルマ」に従事した後、古巣の野辺山に戻り、2017年7月より所長をつとめる。

## 教育講演

7月22日(土) 13:00~14:30

ZOOMウェビナー

座長：高橋 良・伊藤 量基

2型自然リンパ球の発見から臨床研究まで  
～サイトメーターの子守歌に育てられ～

ED

## 茂呂 和世

大阪大学医学系研究科 生体防御学教室 教授(本務)

理化学研究所生命医科学研究センター

自然免疫システム チームリーダー(兼務)

大阪大学免疫学フロンティア研究センター(IFReC)

免疫・アレルギー教室 教授(兼務)

大阪大学大学院生命機能研究科 生体防御学教室 教授(兼務)

免疫学を学ぼうと大学院に入り始めて習った技術がフローサイトメーターであった。当時ラボにあったのはFACS Can。3色染められたが、死細胞を除去すると2色しか染められないという今では考えられない機器だったが、チラチラと表示される点々の1つ1つ細胞が細胞だと思つとわくわくした。2年後に移籍したラボにはFACS Caliburがあった。なんと4色染められる画期的な機器だった。Caliburよって3次元で細胞を見られるようになったおかげで、Lineage<sup>-</sup> c-Kit<sup>+</sup> Sca-1<sup>+</sup>の謎の細胞を見つけた。FACS Vantageもラボにおいてあったが、オシロスコープの点々と、不安定なノズルに恐れをなし、使いこなすには至らなかった。そんな中、FACS Ariaの発売は画期的だった。純金のノズルを壊す恐怖はあったがすぐに使い方を覚えAriaと寝食を共にするようになった。おかげでソーティングが可能になり、謎の細胞は幹細胞様の表現型を持つものの、幹細胞としての機能は持たず、新しいリンパ球であることが分かった。後に2型自然リンパ球(ILC2)と名付けられるこの細胞は、昼夜を問わずAriaによってソートされ、遺伝子解析の結果、アレルギーの排除や寄生虫の排除に重要とされる2型サイトカイン産生細胞であることが明らかになった。大型研究費に初めて採択されたときは迷わずMy Ariaを買い、免疫学者として生きていく決心をつけた。ILC2はT細胞とよく似た表現型を持つが抗原認識能を持たない。Ariaよりも気軽に多重染色ができるFACS Cantoの登場によって、ILC2は抗原を認識しない代わりに様々なサイトカイン、脂質、ホルモン、神経ペプチドによって活性化することが明らかになった。ILC2の発見はこれまで抗原特異性を軸としてとらえられてきた免疫学を大きく変えた。外来抗原が侵入しなくてもILC2によって2型免疫応答が惹起されることが明らかになったからである。例えば、スギに対する花粉症の人はスギという抗原にT細胞が過剰に反応することでアレルギーが発症するが、多くの喘息患者やアトピー性皮膚炎患者は自身がどのような抗原に反応しているのかを知らない。このなんだかわからないがアレルギーという患者で暴れているのがILC2である。現在では、ILC2はアレルギーだけでなく、ウイルス感染症、肺線維症、潰瘍性大腸炎、子宮内膜症、肥満、老化など様々な病態で研究されるようになった。一昨年、FACS Celestaがラボに設置された。学生たちが日々Celestaでデータを量産しているが、私はデスクワークに追われ、まだ電源の位置さえ知らない。

## AfterTalkSession

▶日時：2023年7月22日(土)14:40~15:30

|会場|oViceバーチャル会場 大阪たこ焼きホール

講演会終了後、バーチャル会場で茂呂先生との交流親睦会を開催致します。

## 略歴

平成15年 日本大学歯学部 歯学科卒業  
 平成19年 慶應義塾大学医学研究科 博士課程単位取得満期退学  
 平成22年 博士(医学)取得  
 平成19年 慶應義塾大学医学部 微生物学免疫学教室 特別研究助教  
 平成24年 理研IMS 上級研究員(H24~H27)/チームリーダー(H27~現任)  
 平成25年 横浜市立大学生命医科学研究科 客員准教授(H25~H28)/客員教授(H28~H31)  
 平成31年 大阪大学医学系研究科 生体防御学教室 教授(現任・本務)  
 平成31年 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 免疫・アレルギー教室 教授(現任)  
 平成31年 大阪大学大学院生命機能研究科 生体防御学教室 教授(現任)  
 (賞 罰)  
 平成28年 第11回日本免疫学会研究奨励賞  
 平成29年 第13回日本学術振興会賞  
 平成29年 第13回日本学士院学術奨励賞  
 平成30年 第8回フロンティアサロン永瀬賞  
 令和3年 第4回鳥津奨励賞

# 会長講演

7月23日(日) 17:00~17:30  
 バーチャル会場・井の頭メインホール  
 座長：小賀 厚徳

## 日本サイトメトリー学会初のバーチャル会場開催は成功したのか？



PRE

### 高橋 良

杏林大学大学院医学研究科  
 共同研究施設フローサイトメトリー部門  
 副部門長・講師  
 博士(保健学, 杏林大学)

本学術集会開催に際し、私のような名も知れない若輩の会長に多大なるご支援・ご協力を賜りました参加者の皆様・演者の皆様、そして協賛企業様に心から感謝しております。この抄録集が皆様のお手元に届き、2023年7月22日午前10時に無事にZOOM配信の【ON AIRボタン】を押す事ができていることを祈りながら原稿を書いています。

今年もCovid-19感染症の影響を懸念し、リアル会場での開催ではなくオンライン開催となりました。今回はZOOM配信だけでなく、参加者同士の交流ができるバーチャル会場システムを初めて導入しました。2日間に渡って多彩なセッションがバーチャル会場で開催されましたが、皆様楽しんでいただけたでしょうか？

さて、学術集会会長講演は会長自身の研究テーマについてお話しするのが慣例となっておりますが、今回は最終セッションの会長講演で2日間の学会の内容を振り返り、バーチャル会場での開催の評価を行います。

尚、バーチャル会場の入り口付近に簡単なアンケートを設置しております。参加者の皆様からのご意見・ご感想・励ましのお言葉・ご指摘やご不満(できれば少ない方がbetterですが・・・)を拝見し、小賀厚徳実行委員長と共に来年度以降の学術集会に向けて建設的なディスカッションを行いたいと思います。

皆様、ぜひご意見・ご感想をお寄せください。たくさんのご投稿をお待ちしております。

### 略歴

1994年 杏林大学 保健学部 臨床検査技術学科卒  
 1994年 第40回 臨床検査技師国家試験合格、臨床検査技師取得  
 1999年 杏林大学 大学院 保健学研究科 保健病理学 博士後期課程修了  
 1999年 杏林大学 医学部 助手(任期制)  
 2000年 杏林大学 医学部 助手  
 2015年 杏林大学 医学部 専任講師  
 2018年 副部門長。現在に至る

- ・日本臨床衛生検査技師会 会長賞(1998年)
- ・第11回ガルデルマ賞(2010年)
- ・BioLegend/Tomy Digital Biology "Travel Award2013" (2013年3月期)
- ・杏林大学医学部 研究奨励賞(2012年・2016年)

### 研究テーマ

- ・重症円形脱毛症・重症薬疹の病態解明

- ・第29回日本サイトメトリー学会技術講習会会長
- ・日本サイトメトリー学会 理事(2014年～)
- ・日本サイトメトリー学会 ホームページ委員会委員長(2014年～)
- ・日本サイトメトリー学会 評議員(2012年～2013年)

# シンポジウム 1・2・3

The 33rd Annual Meeting of the Japan Cytometry Society

# シンポジウム1

#Collaboration1 : NGS EXPO x JCSコラボシンポジウム

▶2023年7月22日(土)10:30~12:00

|会場| ZOOMウェビナー配信

「シングルセル解析で何がわかるのか？」

日本サイトメトリー学会初のコラボレーションシンポジウムの開催です。次世代シーケンサー(NGS:Next-Generation Sequencing)全般を扱うNGS EXPO様(代表:大倉永也先生, 大阪大学免疫学フロンティア研究センター)をお招きし、フローサイトメトリー解析と合わせたシングルセル解析技術でどのような事が判るのか解説していただきます。

■座長/大倉 永也(大阪大学免疫学フロンティア研究センター(IFReC))  
馬淵 洋(順天堂大学大学院医学研究科)

演者:

大倉 永也(大阪大学免疫学フロンティア研究センター(IFReC))

元岡 大祐(大阪大学微生物病研究所)

村上 真理(大阪大学大学院医学系研究科 免疫制御学)

小口 綾貴子(理化学研究所生命医科学研究センター理研-IFOMがんゲノミクス連携研究チーム)

AfterTalkSession

▶日時: 2023年7月22日(土)14:40~15:30

|会場| oViceバーチャル会場 大阪お好み焼きホール



# シンポジウム2

#Collaboration2：共同利用研究施設

▶2023年7月22日(土)15：30～16：50

|会場| oViceバーチャル会場 井の頭メインホール

ラウンドテーブル「座談会：共同研究施設の実情とこれから」

本学術集会のテーマ「#Collaboration」から、フローサイトメトリーを運用している共同研究施設のご担当者にご登壇頂き、各施設の特徴や運用方法についてご紹介して頂くバーチャル会議場(oVice)でのラウンドテーブル方式シンポジウム。

■キュレーター／高橋 良(杏林大学大学院医学研究科共同研究施設フローサイトメトリー部門)

石井 有実子(東京医科歯科大学統合研究機構リサーチコアセンター/CytoWorks主宰)

演者：

佐藤 奈津子(東京大学医科学研究所臨床フローサイトメトリーラボ・(株)LSIメディエンス)

岡田 義則(東海大学メディカルサイエンスカレッジオフィス(生命科学統合支援ユニット))

森 加奈恵(佐賀大学総合分析実験センター)

石田 美雪(京都大学ASHBi)

山崎 聡(筑波大学医学医療系幹細胞治療研究室)

與座 法子(理化学研究所生命医科学研究センターFACSラボ)

# シンポジウム3

#Collaboration3：日本サイトメトリー技術者認定協議会 x JCSコラボシンポジウム

▶2023年7月23日(日)15：30～17：00

|会場| oViceバーチャル会場 井の頭メインホール

日本サイトメトリー技術者認定協議会コラボシンポジウム

日本サイトメトリー技術者認定協議会との初のコラボレーションシンポジウムが開催されます！今回、医療現場最前線の先生をお招きし、造血器系腫瘍などのFCMデータの読み方が基礎から学べる教育的なシンポジウムを企画しました。サイトメトリー技術者の方、認定試験に関心ある方、造血器系腫瘍やFCMIに関わる医薬検査系の方必見です。

■座長／野村 昌作(関西医科大学総合医療センター・協議会会長)

伊藤 秀明(愛知医科大学病理学・カリキュラム委員)

演者：

常名 政弘(東京大学医学部附属病院検査部)

鶴田 一人(長崎大学病院検査部)

池亀 彰茂(香川県立保健医療大学保健医療学部臨床検査学科)

林田 雅彦(公益財団法人天理よろづ相談所医学研究所)

スポンサーセミナー 1  
スポンサーセミナー 2  
スポンサーミニセミナー

The 33rd Annual Meeting of the Japan Cytometry Society

# スポンサーセミナー1

▶2023年7月22日(土)12:00~13:00

|会場| ZOOMウェビナー配信

“フローサイトメトリーを次のステージへ”

～BD バイオサイエンスのフローサイトメトリーの新技术(多次元解析、次世代 高速イメージングセルソーター)を基礎から臨床応用までご紹介～

■座長/山口 亮

(日本ベクトン・ディッキンソン(株) バイオサイエンス事業部 アプリケーションサポートグループ)

演者: 奥田 美雪

(日本ベクトン・ディッキンソン(株) バイオサイエンス事業部 アプリケーションサポートグループ)

BD バイオサイエンスは「一つの細胞から医療の未来を切り開く」をテーマに、フローサイトメトリーを用いた基礎研究や臨床医療への貢献を目指しています。

従来のフローサイトメトリーは6~8カラー測定が主流でしたが現在では多色の蛍光色素の開発や測定技術が進歩し、30カラー以上のハイパラメーター測定が可能になりました。

解析の手法もtSNEやUMAPなどの多次元解析が、研究における未知の事象の発見や研究成果をよりわかりやすく表現することから、更なる成果を創出する一助となっています。

本日はBD バイオサイエンスが提供する最新のフローサイト技術をご紹介します。

一つは基礎研究や臨床医療のサンプルを用いたFlowJo™ 解析ソフトウェアによる多次元解析の実例、二つ目は次世代イメージングBD FACSDiscover™ S8 セルソーターとBD Cellview™ Image Technology についてご紹介いたします。

■共催/第33回日本サイトメトリー学会学術集会・日本ベクトン・ディッキンソン(株)

## スポンサーセミナー2

▶2023年7月23日(日)12:00~13:00

|会場| ZOOMウェビナー配信

今さら聞けない2 サイトメトリーデータ解析と機械学習：信頼性向上と自動化への指向

■座長／伊藤 俊行, 博士(薬学)

(ベックマン・コールター株式会社ライフサイエンス フローサイトメトリー事業本部 事業本部長)

演者：中根 優子, 博士(工学)

(ベックマン・コールター株式会社ライフサイエンス フローサイトメトリー事業本部

Cytobankプロダクトマネジャー)

1947年にウォレス・コールターによって原理が考案されたフローサイトメトリーは、機器と試薬の技術発展によって進化を続け、マス、スペクトル、イメージサイトメトリーなど原理を同じくするサイトメトリーも含めると、現在においても先端的な測定技術であり続けています。

そして、先鋭的研究に資する技術である面を有しながら、同時に、トラディショナルなものは汎く普及をするという稀有な成熟を経たサイトメトリーは、ここ数年で鮮明に2極化しつつあります。どちらのセグメントにおいても、免疫システムの医療応用の国際的な加速とそれに伴う重要度の高まりを背景に、結果の信頼性への要求水準は、コールターの時代よりもはるかに高まっています。

一方、高度に洗練された機器と試薬で測定した後そのデータの解析を最初に習った時を思い返すと、マニュアルゲーティングのプリミティブさに、納得はするものの戸惑いを覚えた経験を持つ研究者は少なくないのではないのでしょうか。習熟しても(むしろする程に?)、ゲートの境界線をどこに引くべきかの葛藤に時に悩まされ、カラー数が増加しゲーティングヒエラルキーが深くなるほど、信頼性への自信と作業に要する時間の負の相関をより強く感じているかもしれません。

機器の標準化や自動化、保管条件に影響されないドライ試薬やGMP対応など、信頼性要求に対応しようとする流れは解析においても同様で、近年では機械学習技術を導入することで成果をあげてきています。

本ランチョンセミナーでは、サイトメトリー解析における機械学習技術の展開について、高度なアルゴリズムによる探索的な新規性の発見ではなく、より信頼性の高い結果を得るためにどのような機械学習アプローチが現在進んでいるかという観点でお話いたします。

機械学習を用いた解析と聞くとハイパラメータ高次元データに特化した複雑な解析手法がまず思い浮かび、昨年はその代表である次元削減アルゴリズムについてお話いたしました。今回は派手さこそないものの、どのセグメント、どのメーカーからのサイトメトリーデータにも、信頼性向上の基盤を固めるのに役立つアルゴリズムとツールもご紹介いたします。

■共催／第33回日本サイトメトリー学会学術集会・ベックマン・コールター株式会社

## スポンサーミニセミナー

▶2023年7月22日(土)15:00~15:30

|会場|バーチャル会議場 井の頭メインホール

**BD Rhapsody™ シングルセル解析システムの原理と特徴**

～フローサイトメーターとシングルセル解析のトータルワークフロー例のご紹介～

■座長/結城 啓介

(日本ベクトン・ディッキンソン(株) バイオサイエンス事業部 アプリケーションサポートグループ)

演者: 安田 剛

(日本ベクトン・ディッキンソン(株) バイオサイエンス事業部 アプリケーションサポートグループ)

細胞単位で遺伝子発現を解析する「シングルセル解析」は、細胞全体の RNA 解析では見えなかった、細胞種ごとの遺伝子発現を解析する、近年非常に注目されている技術です。

BD Rhapsody™ シングルセル解析システムはマイクロウェルを使用してシングルセル化を行うため細胞へのダメージが小さく、またドロップレット方式とは異なり内在性のRNaseの影響も受けにくいいため、様々な種類の細胞に対して適用可能な手法となっています。

本セミナーではBD Rhapsody™ シングルセル解析システムの原理とアプリケーション、またフローサイトメーターも含めた包括的なアプリケーション例を含めてご紹介いたします。

■共催/第33回日本サイトメトリー学会学術集会・日本ベクトン・ディッキンソン(株)

# FCMよろず相談所

The 33rd Annual Meeting of the Japan Cytometry Society

# FCMよろず相談所

日頃のFCMIに関するお悩み相談を受け付けます。ベックマン・コールター株式会社様と日本ベクトン・ディッキンソン(株)様のご協力のもと、各学術担当者が皆さまのFCMIに関するお悩みにお答えします。開所時間中に直接oViceバーチャル会場の「FCMよろず相談所」へお越しいただき、担当の方とお話してください。尚、順番待ちが生じる場合がございますので、その際はブースの外でお並びください。

## 開所時刻

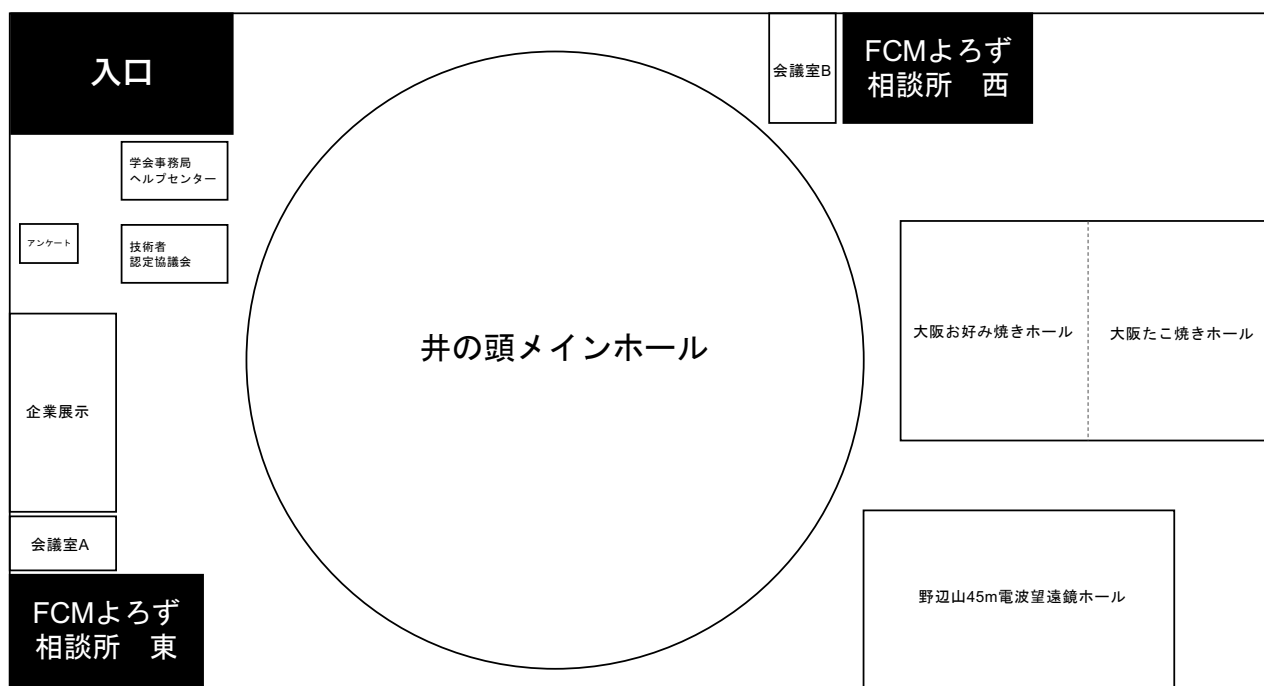
7月22日(土) 14:30~16:30 基礎研究分野  
7月23日(日) 14:30~16:30 クリニカル分野

## 開所場所

### oViceバーチャル会場

**よろず相談所 西**：ベックマン・コールター株式会社  
基礎研究分野： 齋藤 滋・豊島 哉子  
クリニカル分野：方波見 浩二

**よろず相談所 東**：日本ベクトン・ディッキンソン(株)  
基礎研究分野： 山口 亮・奥田 美雪  
クリニカル分野：四ノ宮 隆師・小高 智之





# 企業展示

The 33rd Annual Meeting of the Japan Cytometry Society

# 企業展示出展社（oViceバーチャル会場）

下記時間帯に高橋会長が企業展示ブースへ訪問し、企業担当者様とのトークセッションを開催致します。皆様ぜひお越しください。

メトラー・トレド株式会社 レイニン事業部

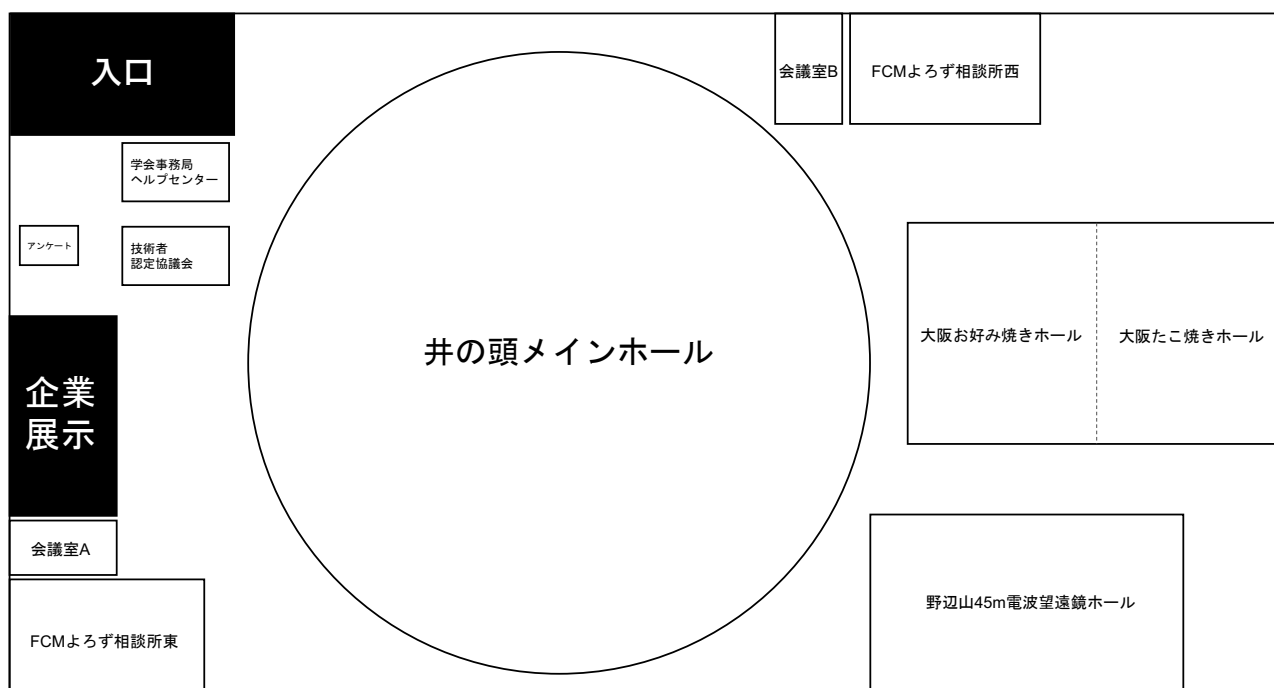
## 開催時刻

7月22日(土) 17:30~17:50(ポスターディスカッション時間帯)

7月23日(日) 11:00~11:20

## 開催場所

oViceバーチャル会場 企業展示ブース



# oViceマニュアル

The 33rd Annual Meeting of the Japan Cytometry Society

---

# oVice

---

## 第33回日本サイトメトリー学会学術集会

### バーチャル会場 取扱い説明書

Ver 20230614

---



## 参加者別 INDEX

- 全参加者の皆様（基本編）：1～10ページ
- 井の頭メインホール座長・演者用：1～10（基本編）及び11～13ページ
- After Talk Session演者/座長/キレター用：1～10（基本編）及び14ページ
- ポスターディスカッション演者/座長/聴講者用：1～10（基本編）、13、15～16ページ
- MCご担当者様：1～10（基本編）及び17ページ
- 企業展示/FCMよろず相談所ご担当者：1～10（基本編）及び18～20ページ

よくある質問：21ページ

会場マップ：23ページ

©2023 高橋 良（第33回学術集会会長）

## もくじ

参加者の皆様へ	2
oViceについて	2
プレオープンしています！	2
簡単！クイックマニュアル	3
oViceを使うために必要なものを揃えよう！	4
ご来場に際して（注意事項）	4
準    備	4
メイン会場マップ	5
各イベントホールへの行き方	6
会場に入場してみましょう！	7
アバターの動かし方・会話の方法	8
スペースの機能説明	9
井の頭メインホールに聴講者として参加する	10
セッションで質問する方法	10
井の頭メインホールに座長・演者として参加	11
会場への入場～ミーティングアイコンへの接続	11
カメラとマイクをONにする方法	11
画面共有の方法	13
After Talk Sessionに演者/座長/キルター/聴講者として参加する皆様へ	14
会場への入場～ミーティングアイコンへの接続	14
カメラとマイクをONにする	14
ポスターディスカッションに演者/座長/聴講者として参加する皆様へ	15
座長の先生/演者の先生	15
聴講者の皆様へ	16
MC担当・司会の会場全体アナウンスについて	17
企業展示/FCMよろず相談所ご担当者の皆様へ	18
企業展示ご担当者の皆様へ（応用編）	19
会議室（商談室）の使用方法	20
よくある質問	21
画面共有ができない(Mac)	21
スペースのセッション切れが頻繁に起こる	21
音声通信ができない	21
会場マップ（通常モード）	23
会場マップ（ポスターディスカッションモード）	23

## 参加者の皆様へ

第33回日本サイトメトリー学会学術集会では、一部のイベントをメタバースプラットフォームの「oVice（オビス）」を利用したバーチャル会議場で開催します。操作方法は簡単ですが、参加者・演者の皆様にご満足にご利用いただく為に、本書を必ずお読みください。

### ■プレオープンしています！

学術集会は2023年7月22~23日に開催されますが、その約1ヶ月前からバーチャル会場を参加者や協賛企業様へ開放しています！ぜひ皆様、お好きな時間帯にバーチャル会場へアクセスして頂き、体験してみてください。会場設営中の会長やスタッフに話しかけてもOKです。

### ■oViceについて

本学術集会で使用するメタバースプラットフォームのoViceは、「オンラインでのコミュニケーションを最大化」することを目指して開発されたバーチャル空間で、アバターを使ってWebブラウザ上を自由に動いて自由に話しかけることができます。自分のアバターに近い声は大きく、遠くの声は小さく聞こえる仕組みが導入され、バーチャルオフィスやオンラインイベント空間など様々な用途に利用できるオンラインコミュニケーションツールです。

oViceは、これまで非常に多くの学術集会や企業会議に利用され、WEBブラウザで軽快に動作し、操作も簡単です。セキュリティ対策もきちんとして行われています。詳しくはこちらを御覧ください。  
<https://ovice.in/ja/>

重要

うまく動かないときは・・・





- ・ ブラウザをリロード（再読込）してください。
- ・ oVice公式ヘルプセンターでトラブルを検索してください。  
<https://help.ovice.com/hc/ja>

それでも解決しない場合は学術集会運営サポート事務局 ☎076-269-7788  
(田中昭文堂印刷株式会社学会事業部)へお問い合わせ下さい。


# 簡単！クイックマニュアル

## 1. oVice接続環境のセットアップ

▶P4

-  デスクトップ/ノートPC (Windows, Mac)
-  常時接続インターネット回線
-  Google Chrome ブラウザ
-  ヘッドセット (イヤホン)

ZOOMやTeams等、スピーカーやマイクを使用する他のアプリを終了する。VPN接続はNGです。

 以下のデバイスは非推奨です  
スマートフォン/タブレット  
他のブラウザ

## 2. 参加者専用ページあるいは、事務局からのメールに記載されてるURLにアクセス▶P7

3. ダイアログの表示名に必ず「氏名@所属」を入力。2箇所のチェックボックスをON後「ゲストとしてスペースにアクセスする」をクリック



## 4. 簡単使い方ガイドツアーを体験



学術集会会場へようこそ！まずは、画面左下の「はじめる」ボタンを押して、簡単使い方ガイドツアーを体験してみましょう。

## 5. アバターの動かし方

▶P8



カーソルキー      マウスでクリック

## 6. 参加者と会話してみよう

▶P8      アバター周囲のグレーの円の範囲内だけ声が届きます

OK



NG



## 7. 動かない・調子がおかしい時は

▶P2

-  ブラウザーをリロード
-  oVice HELP Wiki  
<https://help.ovice.com/hc/ja>
-  学術集会運営サポート事務局  
田中昭文堂印刷株式会社  
☎076-269-7788

## ご来場之际して（注意事項）

バーチャル会場へご来場頂いた皆様に安心・安全に楽しんで頂く為に下記の注意事項をお守りいただきますようお願い致します。バーチャル会議場へのご入場は、学術集会参加費をお支払いの方、ご登壇者、ご招待された方、協賛企業様のみとなっております。会場内の同時アクセス数に制限（最大500名）があるため、特別な許可が無い場合に限り、お一人様あたり1台の端末でご入場下さい。同時可能アクセス数を超過してしまう場合、他の方がご入場できなくなる場合がございます。尚、会議場URLを他人へ教える行為は、「不正アクセス行為の禁止等に関する法律（不正アクセス禁止法）」に該当いたしますので、絶対にお止めください。

### 禁止行為



禁止事項をお守りいただけない場合は、主催者の判断によりご退場いただく場合があります。

- ・ 会場内を許可なく取材又は撮影（スクリーンショット）・録音。
- ・ 複数端末による同時入場。
- ・ oVice利用規約に反する行為。
- ・ 本名・ご所属を明記しない場合。

## 準 備

### oViceを使うために必要なものを揃えよう！

バーチャル会議場へ入るためには、インターネットの接続とPCが必要です。なお、スマートフォンやタブレットは画面が小さすぎて広い会場を歩き回ることが難しく、推奨いたしません。本説明書ではPCの操作のみ解説いたします。

### 必要なもの

- ・ インターネット接続（3Mbps以上のスピード）
- ・ マイク・カメラ付きのPC（Mac/ Windows）
- ・ Google Chromeウェブブラウザ

入手先はこちら

<https://www.google.com/intl/ja/chrome/>

### 重要

ZOOMやTeams等、スピーカーやマイクを使用するアプリを終了して下さい。リソースが競合し、使用できない場合があります。VPN経由の接続もNGです（接続できません）。

大学や企業内LANのセキュリティレベルが高い場合、oViceにアクセスができない可能性があります（VPN経由での接続でも不具合が報告されています）。そこで、oVice本社も兼ねている体験スペースで動作確認されることをオススメいたします。体験スペースへのアクセスはこちら

<https://tour.ovice.in/lobby/>

※より専門的なネットワーク診断が必要な場合は、こちらを御覧ください。

<https://bit.ly/3Eaxc1P>



## メイン会場マップ

バーチャル会場のメインレイアウトです。4800×2560ピクセル（4K）の広さがあり、同時に最大500名まで入場可能です。会場のコンセプトは、鉄道路線図をベースに、実行委員や演者の先生方が所属する大学を最寄りの路線に配置しました。なお、ポスターセッションや懇親会ではマップレイアウトが変化します。

### エントランス

初めて会場に入場した時は、この位置から始まります。まず東京駅へ向かい、路線に沿って日本全国に配置された各会場へ移動してみてください。

### 井の頭メインホール

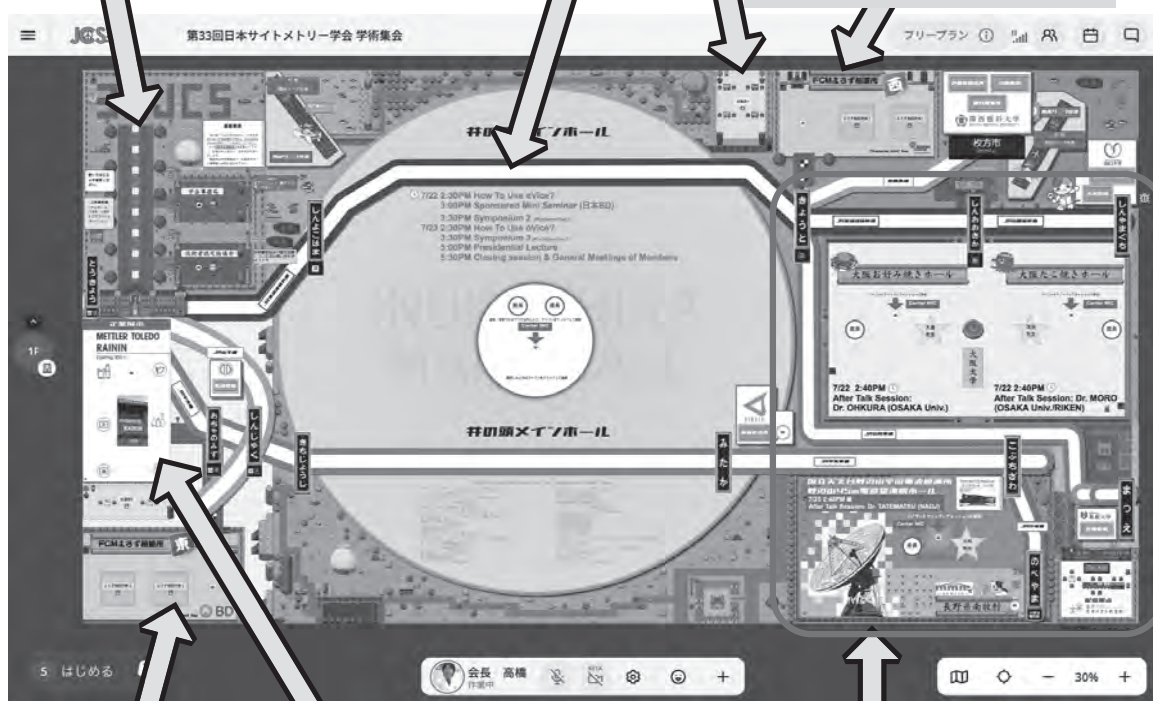
バーチャル会場のメイン会場です。シンポジウム2・3、スポンサーセミナーミニ、閉会式が開催されます。誤って、本物の「井の頭公園」には行かないようご注意ください。

### 会議室

商談等にご利用頂けます。内部の会話は外から聞こえません。

### FCMよろず相談所（西）

フローサイトメトリー解析についてのお悩み相談を受け付けます。



### 企業展示

企業展示会場です。ぜひお立ち寄りください。

### FCMよろず相談所（東）

フローサイトメトリー解析についてのお悩み相談を受け付けます。

### ワープ空港

遠距離の会場へはワープ空港をご利用ください。飛行機をクリックすると……



### サテライトホール

シンポジウムや特別講演・教育講演終了後にAfter talk Sessionが開催されます。いわゆるリアル会場での「続きはフロアで・・・」が行える場所です。質疑や交流会などにご利用ください。

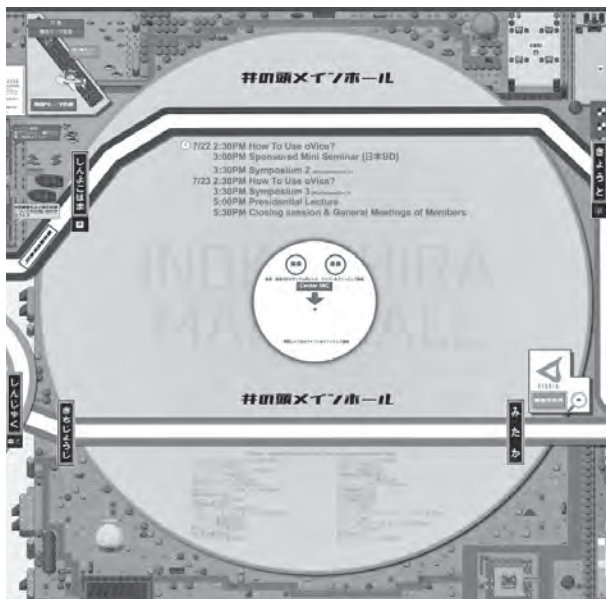
※画像は開発中のもので、実際の会場レイアウト・デザインは異なる可能性があります。

## 各イベントホールへの行き方

東京駅から各路線に沿って移動してください。羽田ワープ空港から各ワープ空港へ移動すると比較的早く移動できます。

なお、各イベント地名はバーチャル空間内での架空名です。

### 井の頭メインホール



#### 東京駅からの行き方

JR東海道新幹線 新横浜駅下車右下

JR中央線 吉祥寺駅・三鷹駅間

JR山手線新宿駅で中央線に乗り換え

#### 開催予定セッション

シンポジウム2

シンポジウム3

スポンサーセミナーミニ

閉会式/社員総会

### 大阪お好み焼きホール



#### 東京駅からの行き方

JR東海道新幹線 新大阪駅下車または関西ワープ空港から

#### 開催予定セッション

シンポジウム1

大倉永也先生After Talk Session

### 大阪たこ焼きホール



#### 東京駅からの行き方

JR東海道新幹線 新大阪駅下車または関西ワープ空港からすぐ下

#### 開催予定セッション

教育講演After Talk Session

茂呂和世先生

### 野辺山45m電波望遠鏡ホール

#### 東京駅からの行き方

JR中央線本線 小淵沢駅で小海線乗り換え野辺山駅下車 または出雲ワープ空港すぐ

#### 開催予定セッション

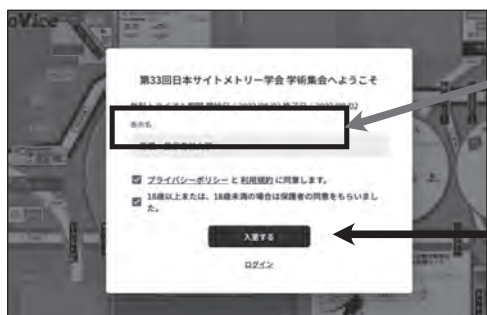
特別講演After Talk Session

立松健一先生

www.33jcs.com

## 会場に入場してみましよう！

- 1 Google Chromeで大会専用URLにアクセスします。  
事務局から配信されたメールに記載されているURLにGoogle Chromeブラウザでアクセスします。 アドレスの形式は  
https://○○○○○○○○.ovice.in/
- 2 表示されたダイアログの「表示名」に「氏名@所属」を記入後、チェックボックスをONにし入室します。ログインは使いません。



**必ず本名と所属を記入**

**重要**

「ゲストとしてスペースにアクセスする」をクリック

または

「入室する」をクリック

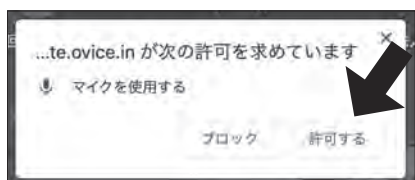
**正しい表示名を記載しない場合**

会場係よりお声がけいたします。不正な入場は、管理センターで常時監視しています。

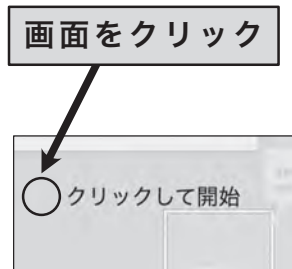
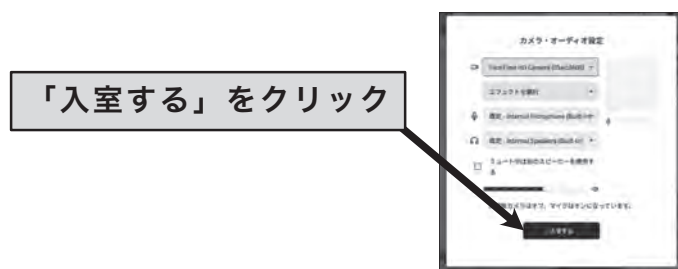
**表示名を変更したい場合**

P9「スペースの機能説明」ページの個人設定8をご覧ください。

- 3 「マイク」と「カメラ」の使用の許可を求められますので、それぞれ「許可」をクリックしてください。



- 4 カメラとオーディオ設定画面が表示されるのでテストを行い、問題がなければ「入室する」ボタンを押してください。「クリックして開始」の画面が表示されるので、マウスを画面の適当な箇所をクリックすると会場に入場します。



## アバターの動かし方・会話の方法

### 1 初回入場時、アバターが会場左上に配置されます。

会場に入場後、初回入場時は、会場全体の左上のエントランス付近にアバターが配置されます。なお、会場はとても広く、画面には会場の一部しか表示されていません（70~80%縮小表示をオススメします）。

#### アバター (Avatar)

ネットの中で登場する自分自身の「分身」を表すキャラクターの名称です。

これがあなたです



### 2 アバターはカーソルキーまたはマウスのクリックで移動します。



①移動したい場所をクリック



②もう一度クリックすると移動します

キーボードのカーソルキーでアバターを上下左右に動かせます。マウスを使用して会場の行きたい場所へクリックしてもアバターを移動できます。

### 3 他の人と話す：アバターは話せる/音が聞こえる範囲があります。

オレンジ色のカーブ



アバターの周囲にはオレンジ色のカーブの線があります。これが顔の向きを表し、声や聞こえる向きを決めています。つまり、実世界と同様に顔が向いている方向へ声が届きやすく、聞こえやすくなります。

矢印の方向にあるアバターの声はよりハッキリ聞こえ、発話者の声もよりハッキリ通ります。顔の向きを合わせる際は、話したい相手のアイコンをクリックすることで矢印の向きを合わせることができます。

グレーの円



アバターを動かすと、アバター周囲にグレーの円が表示されますが、このエリアが声が届く範囲です。お互いの円が重なると会話可能になります。

OK: 良好な音量で会話ができる例

NG: この場合は声が聞こえません



グレーの円が重なり、アバターのオレンジ色の三角が向き合っている時。



グレーの円が重なっておらず、オレンジ色の三角が反対を向いている時。

## スペースの機能説明

### 1 スペースから退室

バーチャル会議場から退出する場合は、クリックして表示される「スペースから退出」を選択してください。



### 2 通信スピード

接続している通信回線のスピードを表示しています。

### 3 ユーザーリスト

入室中のユーザーリストを表示します。クリックするとユーザーの場所を表示します（参加者によって機能が異なります）。

### 4 チャット

ユーザー間でチャットが行えます。詳細はoViceヘルプセンターを御覧ください。

<https://help.ovice.com/hc/ja>



※oViceの開発時期によって画面表示や機能が異なる場合がございます

### 5 階数の選択

学会バーチャルスペースは2階建てとなっており、1階が学術集会、2階はスタッフ専用です。

### 6 マイク/カメラスイッチ

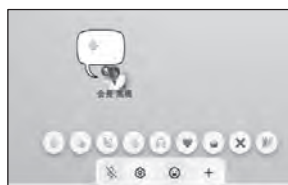
マイクとカメラのスイッチです。マイクがオンの時は、音声発声・可聴範囲を示すグレーの円が表示されます。カメラが無い場合はボタンが表示されません。

### 7 個人設定

ブラウザ下部の歯車アイコンを押すと、アバター画像や表示名、カメラ・オーディオ設定が変更できます。

### 8 リアクション

拳手や拍手等のリアクションがアバターの吹き出し部分に表示されます。



### 9 クイックオブジェクト

映像チャットや画面共有、個別ミーティングが開催できます（参加者によって出来る機能が異なります）。



### 10 ミニマップ

### 11 現在地ボタン

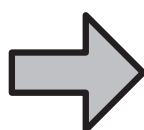
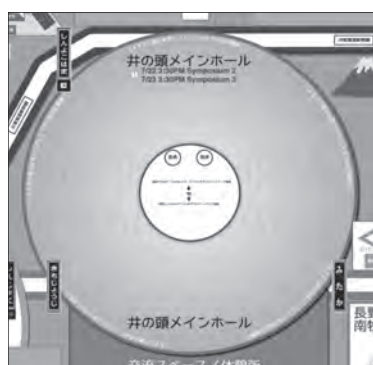
自身のアバターの場所がわからない場合クリックしてください。

### 12 スペースの拡大縮小

70~80%縮小表示が使いやすいようです。

## 井の頭メインホールに聴講者として参加する

各イベントホールに接近すると、大きなグレーの円が表示されますので、内側に入ってください。この範囲内でセッションの音声・映像を視聴できます。グレーの円は、アバターを移動しているときに表示されます。グレーの円外に出ると、視聴できなくなりますが、再びグレーの円内に入ると視聴できます。なお、この状態で発言してもアバター周囲の小さなグレーの円内のみ声が届き、イベントホール全体へは届きません。



アバターを移動するとグレー色の円が表示されます。



大きなグレーの円内に入ってください。

## セッションで質問する方法

質問者の方は、グレーの円内に入り、中央にある**ミーティングアイコン** をクリックしてアバターと線で繋いでください。イベントホールのグレーの円内の参加者に自身の声が届くようになります。



ミーティングアイコン



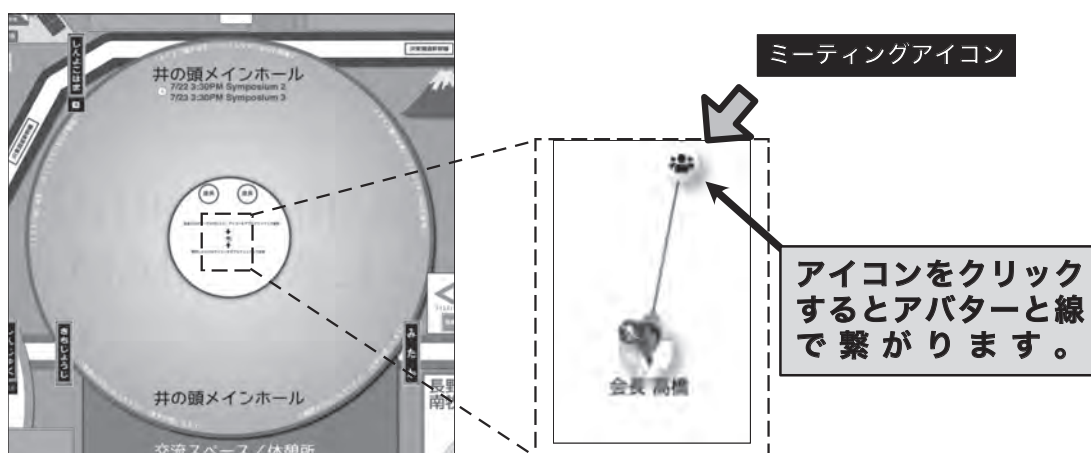
ミーティングアイコンとアバターと線で繋がると、グレーの円内で発言やカメラ・画面共有が行えます。また、音声は顔の向きに依存しなくなります。グレーの円外に出ると、線が切断されます。

## 井の頭メインホールに座長・演者として参加

### 会場への入場～ミーティングアイコンへの接続

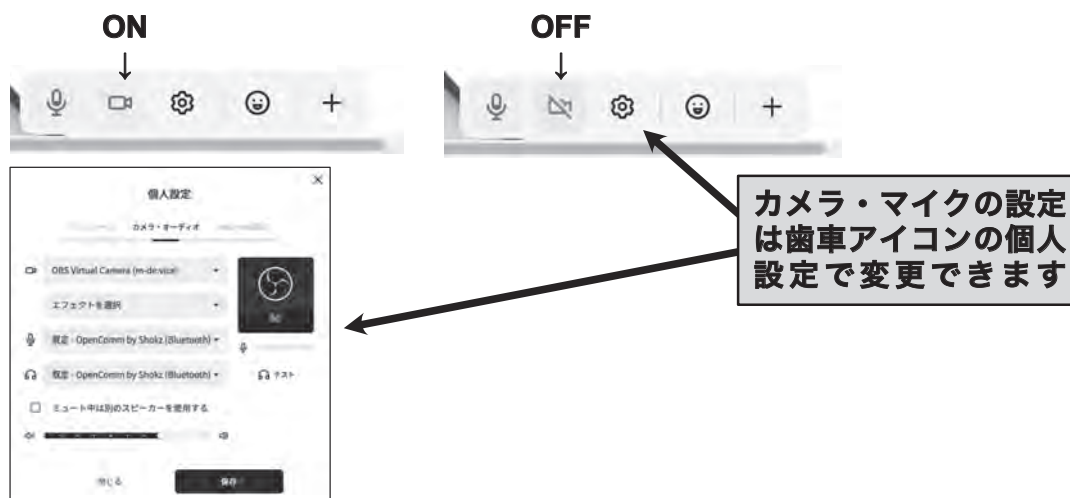
1. 7～9ページに記載のoVice基本事項をご確認下さい。
2. 指定時刻になりましたらoViceの会場へご入場下さい。
3. マップ中央の「井の頭メインホール」へお越しください。
4. メインホールの中央のサークル内に入って頂き、座長/キュレーターは「**座長**」と書かれたポジションへ移動して下さい。演者の皆様は中央サークル内にお入り下さい。
5. 会場センターにある**ミーティングアイコン**をクリックして下さい。アバターとミーティングアイコンが線で繋がりますので、必ずご確認ください。セッション中は常に繋がっている必要があります。

**重要**

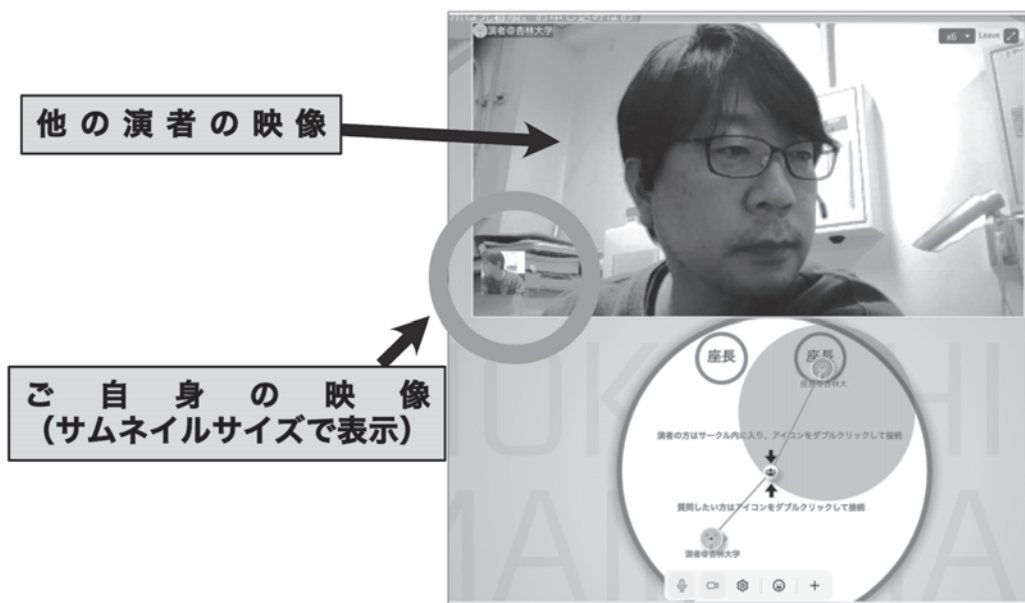


### カメラとマイクをONにする方法

1. 画面下部にあるマイク・カメラのスイッチをONにして下さい。



2. デフォルトでは**ご自身の映像はサムネイルサイズに表示され**、他の演者の映像は下図のように大きく表示されます。セッション参加人数によって映像サイズが変わります。



### 見たい映像を大きくする方法

見たい映像を大きくしたい場合は、対象映像をクリックして下さい。反対に、大きなサイズの映像をクリックするとサムネイルサイズに縮小されます。



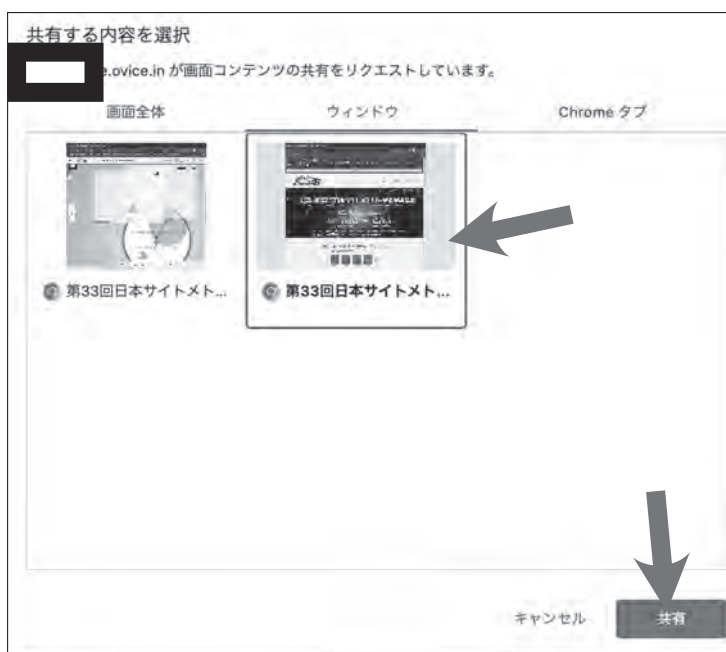


## 画面共有の方法

1. Microsoft PowerPoint等、予め共有するウィンドウを表示させて下さい。
2. 画面下部の「+」アイコン（クックオブジェクト）を押して下さい。



3. 表示されたメニューから「画面共有」を選択して下さい。
4. 「共有する内容を選択」ウィンドウが表示されます。画面全体・ウィンドウ・Chromeタブ（ブラウザに依存）の中から、**ウィンドウ**を選択して下さい。



5. ウィンドウタブの中に表示されている、共有したい対象をクリックし、共有ボタンを押して下さい。
6. 共有を辞める場合は、共有ウィンドウの最下部に表示されている「共有を停止」ボタンを押して下さい。



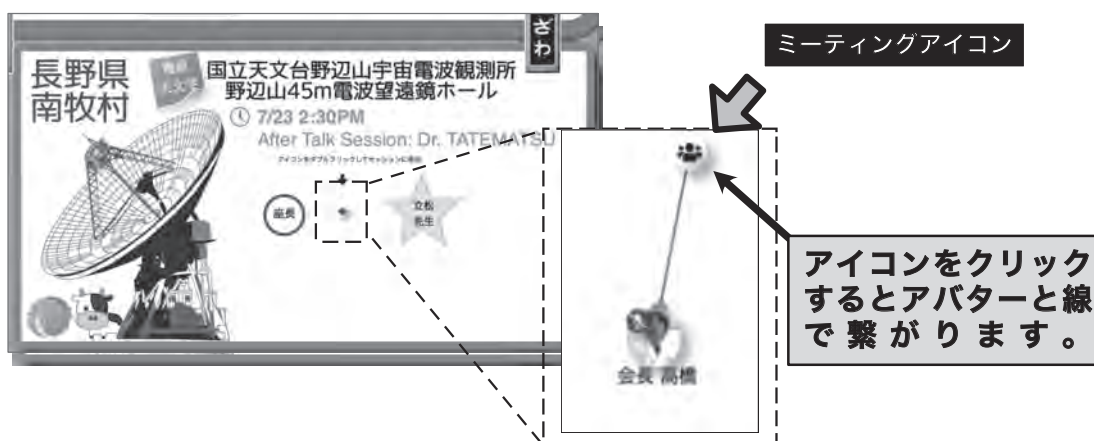
## After Talk Sessionに演者/座長/キュレーター/聴講者 として参加する皆様へ

After Talk Sessionでは、演者の先生、座長、キュレーター、参加者の皆様とフリートークを行える場所で、リアル会場でのいわゆる「続きはフロアで・・・」をバーチャル会場で実現するエリアです。演者の先生とのフリートークをお楽しみ下さい！

### 会場への入場～ミーティングアイコンへの接続

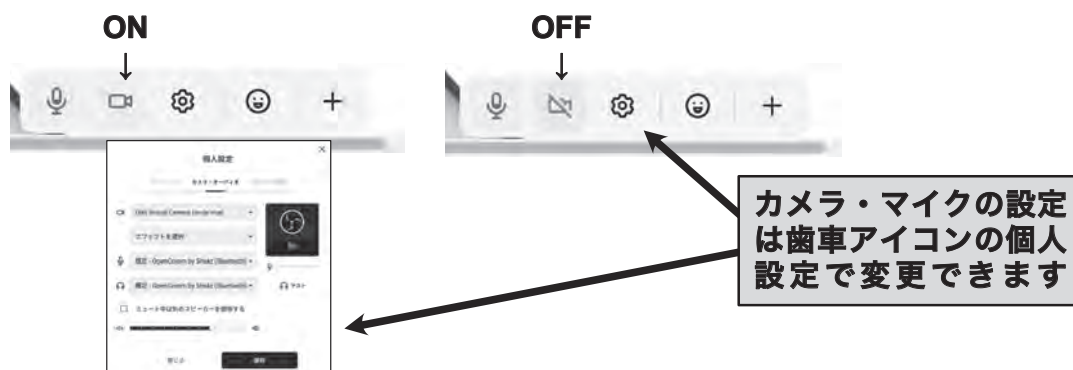
1. 7～9ページに記載のoVice基本事項をご確認下さい。
2. セッション開始時刻10分前までにoViceの会場へご入場下さい。
3. マップ中央右側の各ホールへお越しください。
4. 各ホール内に入って頂き、座長/キュレーターは「座長」と書かれたポジションへ移動して下さい。演者の先生はお名前入りの★マークへ移動して下さい。参加者の皆様はホール内にお入り下さい。
5. 会場センターにあるミーティングアイコンをクリックして下さい。アバターとミーティングアイコンが線で繋がりますので、必ずご確認ください。セッション中は常に繋がっている必要があります。

重要



### カメラとマイクをONにする

1. 画面下部にあるマイク・カメラのスイッチをONにして下さい。



## ポスターディスカッションに演者/座長/聴講者 として参加する皆様へ

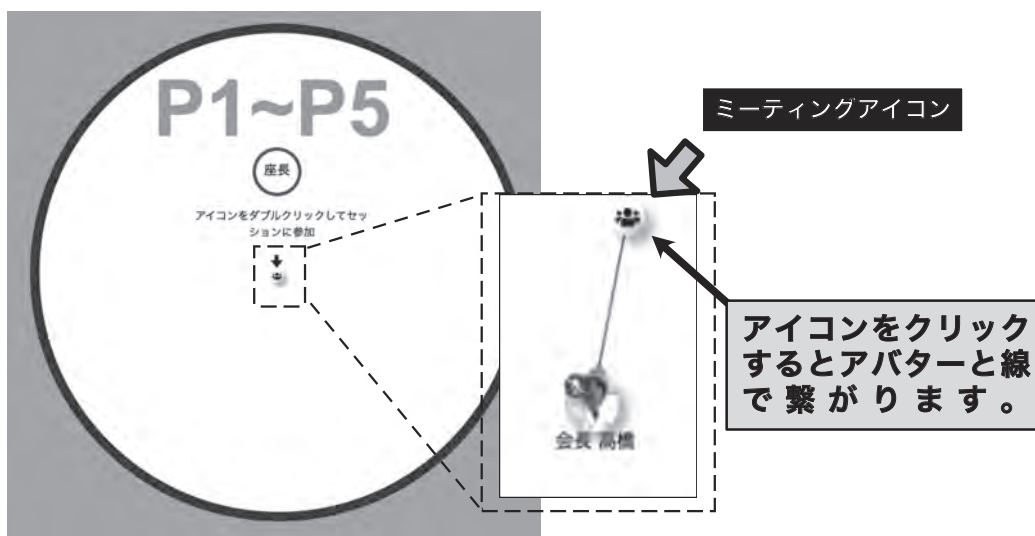
ポスターディスカッションは、複数の演題をバーチャル会場に配置した小ホールで開催するアイランド形式で開催します。座長と演者の方は、指定されたアイランドへお越し頂き、ミーティングアイコンに接続して下さい。演者の方は画面共有を行い、指定時間内でプレゼンテーションを行って下さい。

### 座長の先生/演者の先生

#### 会場への入場～ミーティングアイコンへの接続

1. 7～9ページに記載のoVice基本事項をご確認下さい。
2. セッション開始10分前までにoViceの会場へご入場下さい。
3. マップの指定ホールへお越しください。
4. 各ホール内に入って頂き、座長は「座長」と書かれたポジションへ移動して下さい。演者の先生はホール内にお入り下さい。
5. 会場センターにあるミーティングアイコンをクリックして下さい。アバターとミーティングアイコンが線で繋がりますので、必ずご確認下さい。セッション中は常に繋がっている必要があります。

重要



#### カメラとマイクをONにする

1. 画面下部にあるマイク・カメラのスイッチをONにして下さい。



カメラ・マイクの設定は歯車アイコンの個人設定で変更できます

### 座長の先生へ

開始時刻になりましたら、発表者に画面共有を行っていただくように指示していただき、プレゼンテーションを開始するようにお伝え下さい。発表時間5分・質疑応答時間2分です。タイムキーパーは設置しておりませんので、演者の皆様には発表時間の厳守にご協力頂くようにお伝え下さい。

すべての発表が終了した場合、セッションを終了してください。

### 演者の先生へ

発表時間になりましたら画面共有でプレゼンテーションを行って下さい。画面共有の方法は、[13ページ](#)を御覧ください。**発表時間5分・質疑応答時間2分です**。タイムキーパーは設置しておりませんので、発表時間の厳守にご協力下さい。

プレゼンテーションが終了したら、画面共有を終了して下さい。



## 聴講者の皆様へ

### 会場への入場～ミーティングアイコンへの接続

1. 7～9ページに記載のoVice基本事項をご確認下さい。
2. セッション開始10分前になりましたらoViceの会場へご入場下さい。
3. マップの指定ホールへお越しください。
4. 各ホール内に入って下さい。
5. 各ホールのグレーの円内に入っている時に座長や発表者の音声・カメラ映像・画面共有がご覧頂けます。
6. 質問をする時：会場センターにある**ミーティングアイコンをクリック**して下さい（15ページ参照）。アバターとミーティングアイコンが線で繋がりますので、必ずご確認下さい。この時マイクがONになっている事をご確認下さい。グレーの円外に出ると、線が切断されます。

## MC担当・司会の会場全体アナウンスについて

バーチャル会議場全体にアナウンスをする方法（メガフォン機能）です。なお、一般参加者の皆様にはご利用できない機能です。

### 会場への入場～ログインが必要です

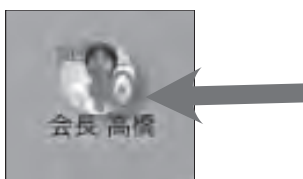
1. 予め登録したアカウントでバーチャル会議場にご入場下さい。



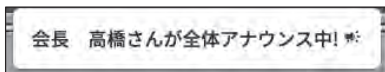
2. 会場のどの位置でもアナウンスを開始できます（会議室内を除く）。
3. 画面下部の「+」アイコン（クイックオブジェクト）を押して下さい。表示されたメニューから「メガフォン」を選択して下さい。



4. アバタにメガフォンアイコンが表示されます。この状態でマイクで話すと、会場全体にアナウンスが行えます。



5. なお、アナウンス中は会場右上に「○○さんが全体アナウンス中」と表示されます。



6. アナウンスを終了する場合は、クイックオブジェクトのメガフォンマークをクリックして下さい。



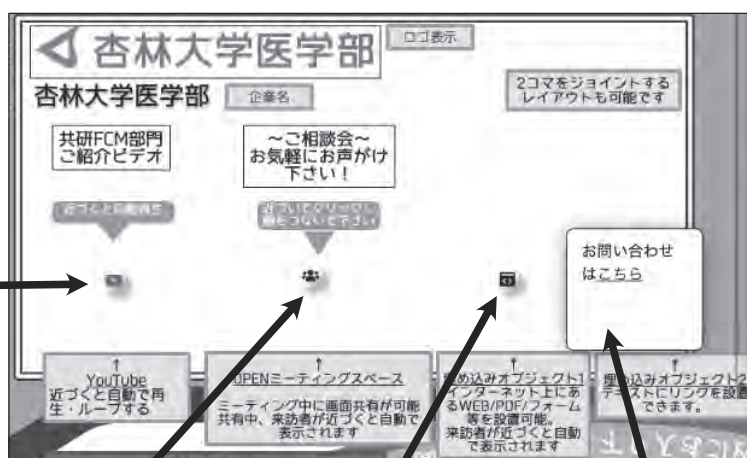
## 企業展示/FCMよろず相談所ご担当者の皆様へ

- ・ 企業展示ブース内で使用できる・設置できる機能をご紹介します。基本的な事項については趣意書を御覧ください。このセクションでは、趣意書の補足事項及びご担当者様の使用方法について解説いたします。
- ・ お申し込み頂いた企業ブース内にて、貴社製品・サービスのプロモーションが可能です。その他の場所での企業活動については、リアル開催の時と同様に、参加者・演者・座長・キュレーターの皆さんに迷惑を掛けない程度で可能ですが、講演中のホール内では、ご契約されているスポンサーセミナーの時間帯ではない時はご遠慮下さい。
- ・ 個別の商談については、会議室をご利用下さい。

### ブース内に設置しているオブジェクトとその機能

#### YouTubeリンク

対象エリア内にアバターが接近・通過時に予め設定したYouTubeがエンドレスで自動再生されます。



#### Openミーティングスペース

予めミーティングアイコンをクリックしアバターとアイコンを線を繋げておきます。

来訪者がミーティングアイコンのエリア（グレーの円の範囲）に接近・通過・滞在時に、担当者とは会話、カメラの映像配信、画面共有が可能です。来訪者の方にもアイコンをクリックして接続して頂くと、安定した会話が可能になります。

※グレーの円の大きさの拡大行為は、禁止とさせていただきます。

※線を解除したい時はグレーの円外に移動して下さい。

#### 埋め込みオブジェクト1

来訪者がアイコンのエリア（グレーの円の範囲）に接近・通過・滞在時に自動で表示されます。WEBのURLやオンラインカタログ、フォームへのリンクが設置可能です。

#### 埋め込みオブジェクト2

担当者がテキストを自由に記述でき、さらに文字にはURLの設定が可能です（所謂、掲示板）。担当者から参加者への一時的なメッセージを記載することを想定しています（例えば、○時○分～滞在します 等を表示）。

#### 会議室

会議室の使い方は、20ページをご覧ください。

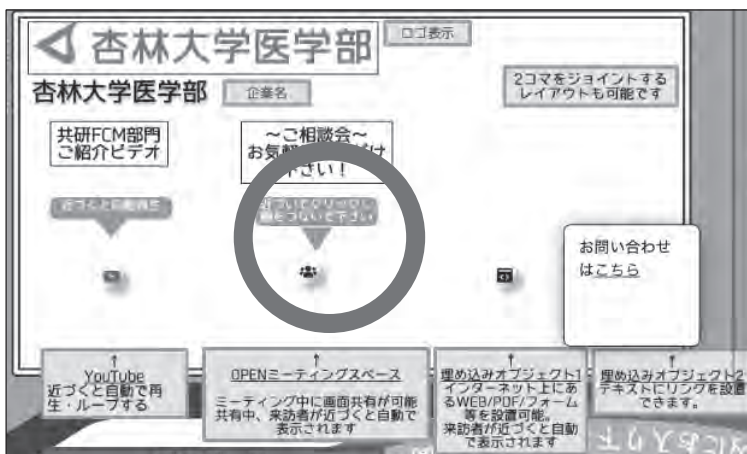
## 企業展示ご担当者の皆様へ（応用編）

### 会場への入場（ログインが必要です）

1. 予め登録したアカウントでバーチャル会議場にご入場下さい。



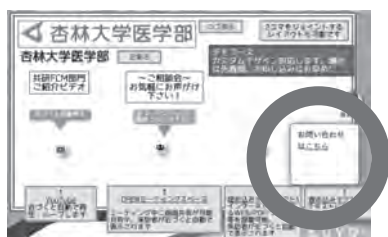
2. 7～9ページに記載のoVice基本事項をご確認下さい。
3. 貴社のブースへお越しください。



4. ミーティングアイコン付近の埋め込みオブジェクトに干渉しない場所で待機して下さい（例えば、上図のブースレイアウトの場合は丸で囲んだ付近）。続いてミーティングアイコンをクリックしてアバターと線で接続しておくといいでしょう。
5. 参加者が来訪された場合は、ミーティングアイコンをクリックして線を繋いでいただくように、お声がけをお願いします。線を接続しなくても会話は可能ですが、音声の音量はアバターの顔の向きに依存します。また、画面共有等はできません。
6. アバターとミーティングアイコンの線を解除する場合は、ミーティングアイコン周囲に表示されるグレーの円外にアバターを移動させて下さい。

## 掲示板の書き方

1. 掲示板の埋め込みオブジェクトをクリックして下さい。



2. クリックすると、ワークロ画面のテキスト編集エディタが表示されます。
3. オブジェクトの大きさが制限されているため、入力できる文字情報に限りがあります。なるべくシンプルな情報を記載して下さい。



## 会議室（商談室）の使用方法

会場には、外部に音声が漏れない会議室が数箇所設定してあります。個別商談等を行いたい場合は、会議室のご利用が可能です。空室の場合自由に使えます。譲り合ってご使用ください。

### 入室方法

会議室をクリックしてください。

「会議室〇〇に入室しますか？」のダイアログが表示されるので、マイクのオプションを選択して入室をクリックして下さい。

### 退室方法

ブラウザ右上にあるアイコンをクリックして下さい。退出のダイアログが表示されます。



会議室に入室している状態。最大収容人数は会議室に描かれている〇の数です。なお、会議室内の音声は外部には漏れませんし、外部の音声も聞こえません。



## よくある質問

### 画面共有ができない(Mac)

1. システム環境設定のセキュリティとプライバシーを開く
2. プライバシーのタブより「画面収録」を選択
3. メニュー左側に「画面収録」のメニューを表示させる。
4. 左下の鍵マークをクリックしてロックを解除
5. 選択後、画面左下の鍵マークを解除、画面右Chromeのチェックボックスを入れて保存。



### スペースのセッション切れが頻繁に起こる

Google Chromeブラウザが起因で、使用していないタブを自動で再読み込みをするという動作が発生していることが原因です。Google Chromeの場合、下記手順で解消が可能です。

1. <chrome://discards/>
2. 上記のリンクをGoogle Chromeのアドレスバーへ入力
3. oViceのURLの欄の右から3つ目の「Auto Discardable」のチェックを外す

※ブラウザを閉じると設定が消えてしまうので、ブラウザを閉じた場合は再度設定頂く必要がございます。

### 音声通信ができない

自分や相手の声が聞こえないなどの問題が生じた場合、まずは以下の対応をお願いいたします。

1. 一度相手のアバターから離れて近づいてみる
2. ブラウザのリロード(リフレッシュ)を行う
3. ブラウザの再起動を行う
4. 端末の再起動を行う

アバターがくるくるしている場合は、ネットワーク障害の可能性が高いです。特にVPN接続や特殊なプロキシを経由している場合に発生します。

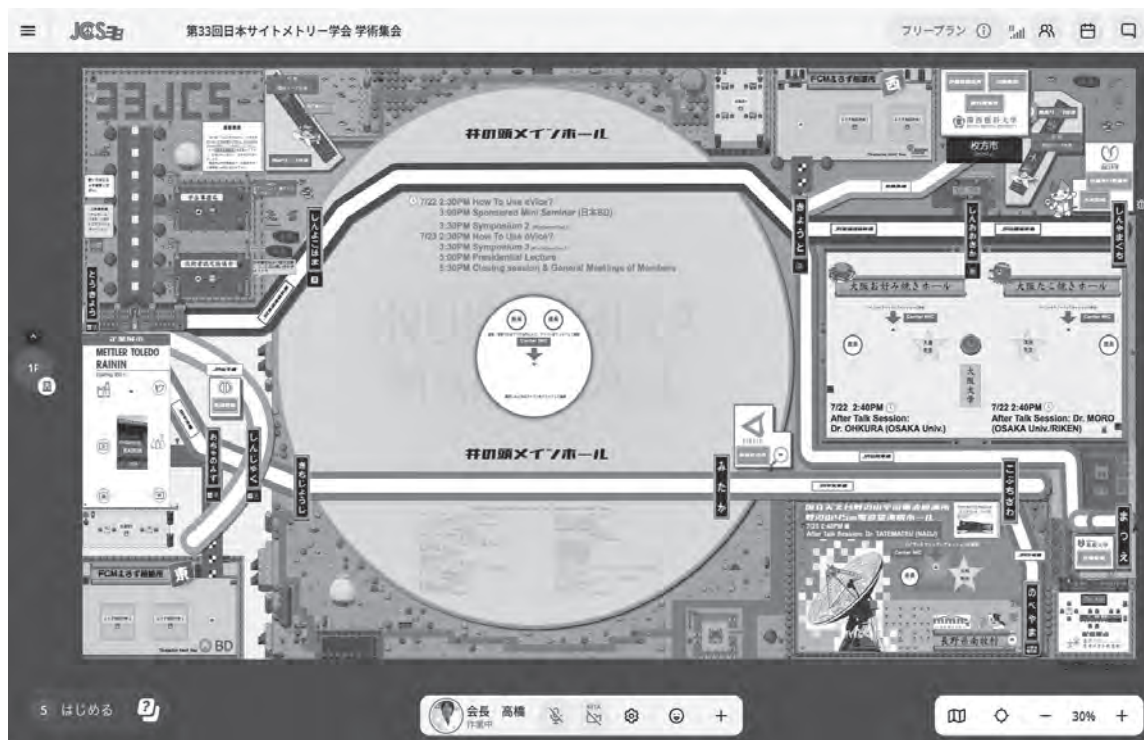
[www.33jcs.com](http://www.33jcs.com)



# memo

www.33jcs.com

## 会場マップ (通常モード)



## 会場マップ (ポスターディスカッションモード)



※画像は開発中のもので、実際の会場レイアウト・デザインは異なる可能性があります。

---

第33回日本サイトメトリー学会学術集会 バーチャル会場 取扱い説明書

発行：第33回日本サイトメトリー学会学術集会実行委員会

Ver 202300614

制作・著作：高橋 良（第33回日本サイトメトリー学会学術集会 会長）

## 協賛企業/自治体/後援一覧

第33回日本サイトメトリー学会学術集会の開催にあたり、関係の皆様より格別のご支援、ご協力を賜りました。ここに謹んで御礼申し上げます。

第33回日本サイトメトリー学会学術集会  
会長 高橋 良

キャノンメディカルシステムズ株式会社  
シスメックス株式会社  
トミーデジタルバイオロジー株式会社  
ヤンセンファーマ株式会社  
BioLegend Japan 株式会社  
ベックマン・コールター株式会社  
日本ベクトン・ディッキンソン(株)  
尾崎理化株式会社  
CSLベーリング株式会社  
大塚製薬株式会社  
日本イーライリリー株式会社  
ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社  
アステラス製薬株式会社  
シンバイオ製薬株式会社  
旭化成ファーマ株式会社  
中外製薬株式会社  
アストラゼネカ株式会社  
メイワフォーシス株式会社  
協和キリン株式会社  
クラシエ薬品株式会社  
長野県南牧村観光協会  
メトラー・トレド株式会社  
ノバルティス ファーマ株式会社  
持田製薬株式会社  
日本化薬株式会社  
大正製薬株式会社  
アッヴィ合同会社  
TSBテレビ信州  
セルシグナリングテクノロジージャパン株式会社  
エーザイ(株)  
バイオ・ラッド・ラボラトリーズ株式会社  
ファイザー株式会社  
株式会社ツムラ  
サイテックジャパン株式会社  
ソニー株式会社

(ご応募順)

Canon



2,000  
t/h

**TBA-FX8**

[販売名] 臨床化学自動分析装置 TBA-FX8  
[製造販売届出番号] 09B1X00003000076



1,600  
t/h

**TBA-2000FR**

[販売名] 臨床化学自動分析装置 TBA-2000FR  
[製造販売届出番号] 09B1X00003000030



免疫オプション付

1,600  
t/h

**TBA-c16000 / Platinum Edition**

[販売名] 臨床化学自動分析装置 TBA-c16000  
[製造販売届出番号] 09B1X00003000001

Integration



1,300  
t/h

**TBA-1500FR**

[販売名] 臨床化学自動分析装置 TBA-1500FR  
[製造販売届出番号] 09B1X00003000085



免疫オプション付

900  
t/h

**TBA-nx360**

[販売名] 臨床化学自動分析装置 TBA-nx360  
[製造販売届出番号] 09B1X00003000084



800  
t/h

**TBA-120FR**

[販売名] 自動分析装置 TBA-120FR  
[製造販売届出番号] 09B1X00003000011



400  
t/h

**Accute RX**

[販売名] 臨床化学自動分析装置 Accute RX TBA-400FR  
[製造販売届出番号] 09B1X00003000083

「  
ともに歩み、  
新たな医療価値を  
一つひとつ、かたちに。」

尊い「いのち」を守る医療への貢献を使命とし、  
製品・サービスの品質を究め、未来を拓く可能性に挑む。  
私たちは、みなさまとともに歩みつづける企業です。

[一般的な名称] ディスクリット方式臨床化学自動分析装置

A000025



## より機能的に、より使いやすく ソフトウェアが新しくなりました。

研究用

# フローサイトメーター RF-500

医療検査装置で培った高い信頼性と  
コストパフォーマンスを実現

特長

- セルフスタートアップと多様なメンテナンスプログラム
- 充実した精度管理プログラム
- シリンジポンプ方式による高精度セルカウティング
- 自動蛍光補正



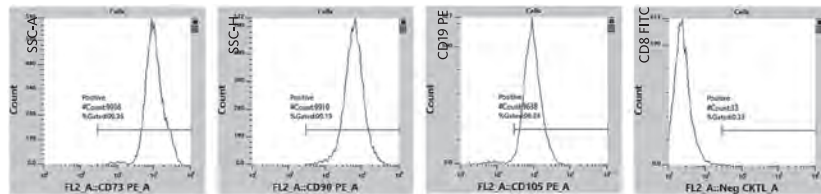
1レーザー4カラー

多彩なアプリケーションに対応

- ◆ 特定抗原マーカーの確認
- ◆ 細胞周期
- ◆ 細胞の生死判定
- ◆ 微生物の計数など

### ■ *In vitro*培養ヒト間葉系幹細胞のCD抗原発現解析

ヒト骨髄由来間葉系幹細胞の継代細胞を細胞表面抗原(陽性マーカー: CD73, CD90, CD105、陰性マーカー(Neg CKTL): CD14, CD19, CD34, CD45, HLA-DR)に対応する蛍光標識抗体で染色し、RF-500で測定しました。



仕様	フローサイトメーター RF-500
蛍光検出感度(MESF)	FITC $\leq$ 150, PE $\leq$ 100
蛍光検出分離能	CV $\leq$ 3%
最小検出粒子径	0.5 $\mu$ m
ダイナミックレンジ	24bit (Area)
レーザー数	1 (488 nm)
検出部・フィルター	FSC, SSC, FL1: 527/30nm, FL2: 595/50nm, FL3: 695/50nm, FL4: >750nm

※ 本製品は医療機器ではありませんので、診断に用いることはできません。 ※ 本広告に記載の図表、データは自社取得のものです。

お問合せ先

**シスメックス株式会社** 日本・東アジア地域本部 R&I営業推進部

リレーションセンター 神戸市西区室谷1-3-2 〒651-2241

東京支社 東京都品川区大崎1-2-2 〒141-0032

[sysmex-fcm.jp](http://sysmex-fcm.jp)



お問合わせ先

# ラボ空間の最適環境づくりを お手伝いします。

研究用試薬

研究用総合機器

臨床検査薬

臨床検査用機器

O A 機器

事務用機器

## 尾崎理化株式会社

本社 神奈川県相模原市緑区根小屋1888  
〒252-0153 電話 042(784)2525 FAX 042(784)2555  
E-mail:honsha@ozakirika.co.jp  
URL<http://www.ozakirika.co.jp/>

横浜営業所 横浜市緑区いぶき野31-10  
〒226-0028 電話 045(988)0531 FAX 045(988)0532  
E-mail:yokohama@ozakirika.co.jp

多摩営業所 東京都八王子市長沼町200-6  
〒192-0907 電話 042(637)2200 FAX 042(632)7212  
E-mail:tama@ozakirika.co.jp

川崎営業所 神奈川県川崎市川崎区鋼管通1-3-3  
〒210-0852 電話 044(329)1414 FAX 044(329)1755  
E-mail:kawasaki@ozakirika.co.jp





ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤 薬価基準収載

# オルミエント®錠 4mg 2mg

olumiant®.(baricitinib) tablets バリシチニブ錠

劇薬・処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

## Lilly Answers リリーアンサーズ

日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口

0120-360-605<sup>※1</sup> (医療関係者向け)

受付時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30<sup>※2</sup>

※1 通話料は無料です。携帯電話からでもご利用いただけます。  
尚、IP電話からはフリーダイヤルをご利用できない場合があります。

※2 祝祭日及び当社休日を除きます

[www.lillymedical.jp](http://www.lillymedical.jp)

製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

日本イーライリリー株式会社

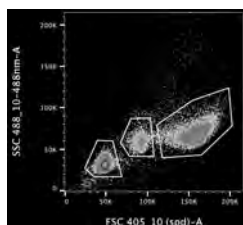
〒651-0086 神戸市中央区磯上通5丁目1番28号

PP-BA-JP-6235 2022年6月作成

# 高性能・ハイスループットフローサイトメーター ZE5 Cell Analyzer

## High Parameter

- 最大5レーザー・27蛍光検出: 355/405/488/561/64 nmレーザーと27蛍光検出、FSC、SSC、さらに第二FSCの最大30パラメーター検出を搭載しています。
- 微生物やエクソソーム検出に最適な微小粒子検出器 (SPD : Small Particle Detector) として、405 nmレーザーによる第二FSCを搭載
- 購入後も、光学系を追加できる光学アップグレードキット



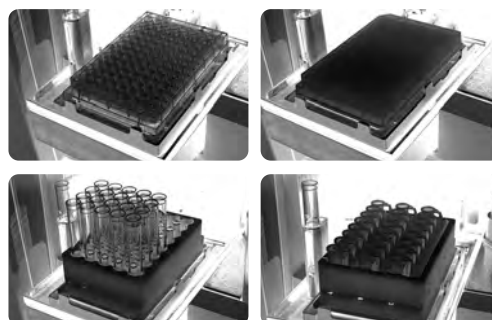
## High Throughput

- 96/384ウェルプレートに標準で対応
- HTモードにより、サンプルを高速に分析可能
- 送液アップグレードにより、稼働時間を8時間から22時間に延長可能
- APIにより他社ロボットオートメーションシステムに接続して、HTスクリーニングが可能



## Easy to Use

- ユニバーサル・ローダー: 標準で5 ml/1.5 mlチューブから96/384ウェルプレートまで対応します。4~37℃の温度制御並びに攪拌機能が標準装備されています。
- 分析中に交換可能な送液部: 送液タンクは本体内蔵で、外部シースカートは不要です。使用していないDI水や廃液タンクは分析中でも交換できる“ホットスワップ”機能に対応しています。また、クリーナー溶液も内蔵されています。



バイオ・ラッド ラボラトリーズ 株式会社

ライフサイエンス

<https://info.bio-rad.com/ZE5-exosome-jp.html>

\* 本製品は研究用であり、診断目的にはご利用いただけません。

**BIO-RAD**



Blood.  
Essential to life, and to our work.

抗悪性腫瘍剤

抗腫瘍性抗生物質結合抗CD22モノクローナル抗体

薬価基準収載

ベスポンザ<sup>®</sup>点滴静注用1mg

BESPONSA<sup>®</sup> Injection 1mg イノズマブ オゾガマイシン(遺伝子組換え)製剤

生物由来製品 毒薬 処方箋医薬品<sup>1)</sup> 注意—医師等の処方箋により使用すること

抗悪性腫瘍剤

抗腫瘍性抗生物質結合抗CD33モノクローナル抗体

薬価基準収載

生物由来製品 毒薬 処方箋医薬品<sup>1)</sup> 注)注意—医師等の処方箋により使用すること

マイロターグ<sup>®</sup>点滴静注用5mg

MYLOTARG<sup>®</sup> Injection 5mg

ゲムツマブオゾガマイシン(遺伝子組換え)製剤

抗CD20モノクローナル抗体

薬価基準収載

リツキシマブ

BS点滴静注 100mg・500mg「ファイザー」

RITUXIMAB BS Intravenous Infusion 100mg・500mg [Pfizer]

リツキシマブ(遺伝子組換え) [リツキシマブ後続2]製剤

注)注意—医師等の処方箋により使用すること

抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼインヒビター

薬価基準収載

ボシュリフ<sup>®</sup>錠 100mg

Bosulif<sup>®</sup> tablets ボスチニブ水和物錠

毒薬 処方箋医薬品<sup>1)</sup> 注意—医師等の処方箋により使用すること

深在性真菌症治療剤

創薬、処方箋医薬品(注射—医師等の処方箋により使用すること)

ブイフェンド<sup>®</sup>

錠50mg・200mg

200mg 静注用

ドライシロップ2800mg

(ポリコナゾール製剤)

薬価基準収載

抗悪性腫瘍剤(プロテアソーム阻害剤)

薬価基準収載

ボルテゾミブ注射用1mg「ファイザー」

ボルテゾミブ注射用3mg「ファイザー」

注射用ボルテゾミブ Bortezomib for Injection 1mg・3mg [Pfizer]

毒薬、処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること

- 効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については、電子化された添付文書(電子添文)をご参照ください。

ファイザー株式会社

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

文献請求先及び製品の問い合わせ先:

製品情報センター 学術情報ダイヤル 0120-664-467

<https://pfizerpro.jp/> (PfizerPro)にも製品関連情報を掲載

販売情報提供活動に関するご意見:

0120-407-947

<https://www.pfizer.co.jp/pfizer/contact/index.html>



ヤンセンが目指すのは、  
病が過去のものになる未来を作ることです。

世界のすべてが、私たちの研究室。

病と懸命に闘う患者さんのために、高い科学技術、独創的な知性、  
世界中の力を合わせ、新しい可能性を切り拓く。

すべては、私たちの解決策を待つ、ひとつの命のために。複雑な課題にこそ挑んでいく。  
新しい薬を創るだけでなく、それを最適な方法で提供する。

革新的な薬や治療法を、届ける。世界中に、私たちを待つ人がいる限り。

誰もが健やかに、いきいきと暮らす社会。

そんな「当たり前」の願いのために、自ら変化し、努力を続けます。

ヤンセンファーマ株式会社 [www.janssen.com/japan](http://www.janssen.com/japan) [www.facebook.com/JanssenJapan](http://www.facebook.com/JanssenJapan)

Janssen  
PHARMACEUTICAL COMPANIES OF  
Johnson & Johnson



ICLUSIG®  
(ponatinib) tablets



抗悪性腫瘍剤／チロシンキナーゼインヒビター

薬価基準収載

アイクルシグ®錠 15<sup>mg</sup>

ICLUSIG® tablets 15<sup>mg</sup>

ポナチニブ塩酸塩錠

劇薬 処方箋医薬品<sup>注)</sup>

注) 注意 - 医師等の処方箋により使用すること


● 効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。



製造販売元  
大塚製薬株式会社  
東京都千代田区神田司町2-9

文献請求先及び問い合わせ先  
大塚製薬株式会社 医薬情報センター  
〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

〈'20.10作成〉

 Bristol Myers Squibb™  
ブリストルマイヤーズスクイブ

## サイエンスを通じて、 患者さんの人生に 違いをもたらす™

深刻な病と闘う患者さんに革新的な医薬品を開発し、提供する。  
私たちは、この使命を胸に、世界中であくなき挑戦を続けます。  
ひとりでも多くの患者さんに、新たな希望をお届けするために。  
患者さんの人生に違いをもたらすイノベーションを起こす。  
それが、私たちの務めです。

© 2020 Bristol-Myers Squibb Company. All rights reserved.

## まだないくすりを 創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

[www.astellas.com/jp/](http://www.astellas.com/jp/)

明日は変えられる。

 **astellas**

アステラス製薬株式会社

# Creating for Tomorrow

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、

より豊かな“暮らし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、次の時代へ大胆に伝えていくために一。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

# AsahiKASEI

旭化成ファーマ株式会社

日本標準商品分類番号 874291

薬価基準収載

抗悪性腫瘍剤／微小管阻害薬結合抗CD79bモノクローナル抗体  
生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品\*

**ポライビー<sup>®</sup>** 点滴静注用 30mg、140mg

**POLIVY<sup>®</sup>**  
polatuzumab vedotin

ポラツズマブ ベドチン (遺伝子組換え) 注

\*注意-医師等の処方箋により使用すること

※F.ホアマン・ラ・ロッシュ社 (スイス) 登録商標

「効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元



中外製薬株式会社

(文庫請求先及び問い合わせ先) メディカルインフォメーション部  
TEL.0120-189-706 FAX.0120-189-705

(販売情報提供活動に関する問い合わせ先)  
<https://www.chugai-pharm.co.jp/guideline/>

ロシュグループ

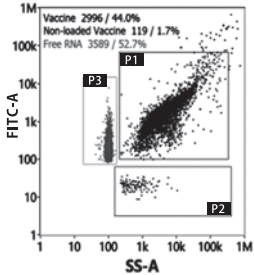
2022年8月作成

# 世界で唯一 40nmからのナノスケールフェノタイピング

## NanoFCM フローナノアナライザー

### mRNAの局在アッセイ アプリケーション

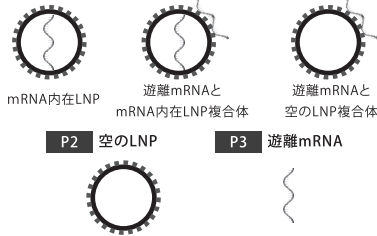
■ mRNA-LNP製剤における一般的なサブポピュレーション



- P1 mRNA-LNP複合体
- P2 空のLNP
- P3 遊離mRNA

Nano FCMフローナノアナライザーを使用してmRNA-LNPにおけるmRNA局在を解析しました。左図ではmRNA-LNP複合体と空のLNP、遊離mRNAのカウント割合を示しています。

■ P1 mRNA-LNP複合体には以下の種類が存在します



側方散乱光(SS)と蛍光(FL)の同時検出により1度の測定で、ナノ粒子の「粒度分布」、「濃度(個数/mL)」と「表現型(蛍光)」を同時測定

核酸医薬分野における活用事例  
アプリケーションダウンロード

QRコードから  
アクセス



受付中 デモ測定・技術相談・お問合せ

### mRNAの封入率を正確に評価

■ RNase処理結果比較

構成	膜透過性核酸染色		膜不透過性核酸染色	
	RNase 未処理	RNase 処理	RNase 未処理	RNase 処理
P1				
P2				
P3				

上図のP1について、RNaseと膜透過性と不透性核酸染色を用いてmRNAの局在を更に解析しました。核酸医薬の封入率を正確に評価することで、LNPの設計、開発、品質管理の向上にご利用頂けます。

メイワフォーシス株式会社



東京 TEL (03)5379-0051 名古屋 TEL (052) 854-7500  
大阪 TEL (06)6212-2500 仙台 TEL (022) 218-0560

ホームページはこちら!

[meiwanet](#)

[検索](#)



協和キリン株式会社

# KYOWA KIRIN

私たちの志

検索

# Kracie

twice or three times a day 選べるやさしさ

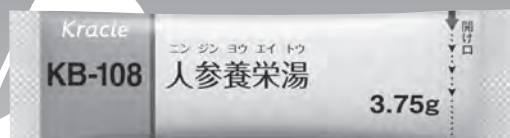
漢方製剤

ニンジンヨウエイトウ

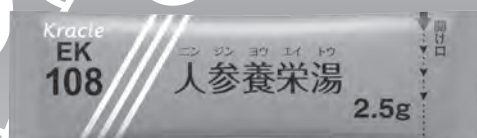
薬価基準収載

クラシエ 人參養栄湯 エキス細粒

(KB-108)



(EK-108)



効能・効果 病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ、手足の冷え、貧血

スティックで、健やかな暮らしへ

クラシエ 薬品株式会社

[資料請求先] 〒108-8080 東京都港区海岸3-20-20

医療用医薬品ウェブサイト 「漢・方・優・美」 <http://www.kampoyubi.jp>

■各製品の「用法・用量」、「使用上の注意」等については製品添付文書をご参照ください。

## 医療・健康ニーズに応じて、 人々の健康・福祉にいっそう貢献したい。



患者さんのために、わたしたちにできることがきっとある。  
これからも医療・健康ニーズをとらえ、独創的な新薬を開発してまいります。



持田製薬株式会社

<https://www.mochida.co.jp/>



健康寿命の延伸に  
貢献していきたい。

大正製薬は、皆様の健康と暮らしの幸福を目指しています。  
代謝性疾患、がん、感染症、免疫系の領域を中心に、  
さまざまなメカニズムの創薬に取り組んでいます。

皆様の信頼と期待をいただきながら  
私たちは研鑽を続けます。

**大正製薬株式会社**  
〒170-8633 東京都豊島区高田3-24-1  
<https://www.taisho.co.jp/>

TSA421C 2020年4月作成

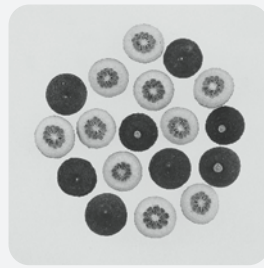
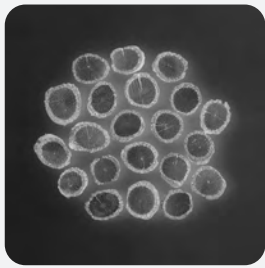
笑顔につながる  
明日を、共に。

この社会の誰もがその人らしく  
笑顔ある日々を過ごせることを目指して。

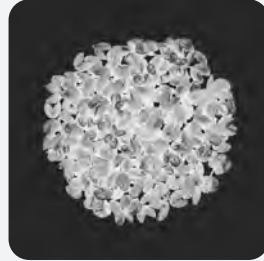
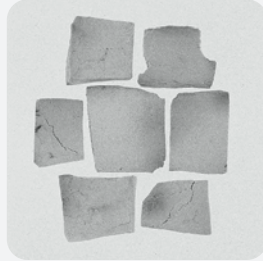
**アッヴィ合同会社**  
〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目1番21号  
msb Tamachi 田町ステーションタワーS  
<https://www.abbvie.co.jp/>

**abbvie**

People. Passion.  
Possibilities.®



生薬には、  
個性がある。



漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。



株式会社ツムラ <https://www.tsumura.co.jp/> 資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。  
医療関係者の皆様 tel.0120-329-970 患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930 受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日は除く)

2021年4月制作 (審)



表紙

「さんかく座」という小さな星座に見える「渦巻き銀河M(メシエ)33」です。M33銀河は、我々がいる銀河の外にあって、有名なアンドロメダ銀河M31に次いで我々に近い銀河です。近いといっても、その距離は光の速さで250~300万年もかかります。つまりこの画像は、300万年前の姿を捉えているのです。

撮影データ：2022年10月(群馬県沼田市)

8インチRowe-Ackermann Schmidt Astrographで撮影

## サイトメトリーリサーチ (日本サイトメトリー学会誌) 第33巻特別号 Cytometry Research (Japan Cytometry Society)

---

### 第33回日本サイトメトリー学会学術集会

オンライン開催 (バーチャル会場)

2023年7月22日(土)・23日(日)

●編集 高橋 良

●発行 杏林大学大学院医学研究科共同研究施設フローサイトメトリー部門

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

TEL : 0422-47-5511 (大代表)

<http://fcm.umin.jp/>

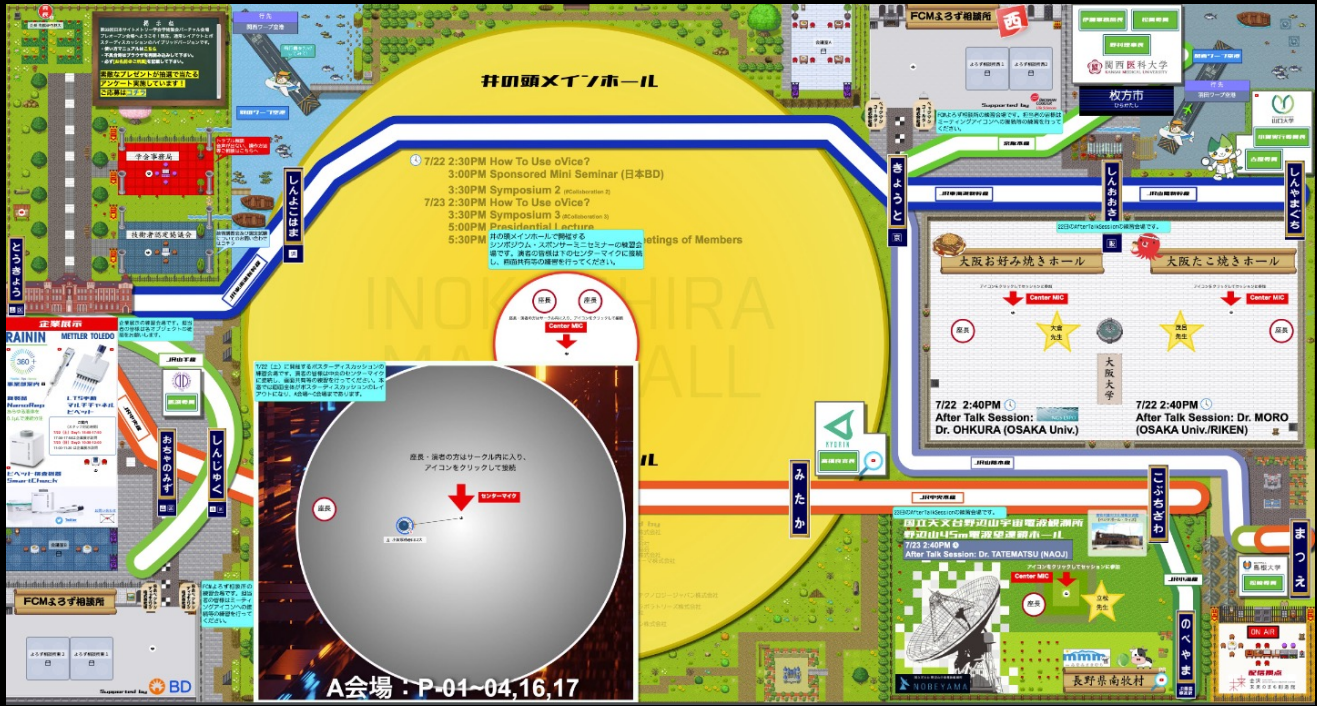
●印刷 田中昭文堂印刷株式会社

〒920-0377 石川県金沢市打木町東1448番地

TEL : 076-269-7788 FAX : 076-269-7311

# 第33回日本サイトメトリー学会学術集会oViceバーチャル会場MAP

## メイン会場レイアウト



## ポスターディスカッション会場レイアウト

